

2022(令和4)年度 身体障害者補助犬育成促進事業等 実施実態調査結果

調査対象期間 2022年4月～2023年3月
調査表送付 2023年11月



特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター

目 次

2022(R4)年度 補助犬育成促進事業実施実態調査結果(都道府県)	2
図 1 盲導犬、介助犬・聴導犬 過去 8 年間に 関する希望相談の有無 :都道府県(2007～ 2022 年度)	35
図 2 2022(R4)年度 補助犬育成促進事業 実施件数・助成額(都道府県別)	36
図 3 2007 年度～2022 年度の補助犬育成促進事業実施件数	37
図 4 2023 年度の補助犬育成促進事業の実施予定(2010～2023 年度)	38
表 1 第二種社会福祉事業としての補助犬訓練事業届出 状況	39
表 2 2022(R4)年度 補助犬育成促進事業 実施件数・助成額(都道府県別)	40
表 3 2023 年度 補助犬育成促進事業 実施予定件数・予定額(都道府県別)	41
表 4 都道府県における補助犬育成促進事業の助成金交付先について	42
表 5 都道府県の助成候補者の決定にかかわる調査・評価委託事業について(都道府県、 政令指定都市、中核市)	43
2022 年度 補助犬の同伴受入れ状況等に対する実態調査結果(政令市・中核市)	44
参考資料	75

注:この報告書で出している値は、四捨五入による計算の丸め誤差が存在するため、値の合計は 100%にならないことがあります。

2022(令和4)年度 補助犬育成促進事業等実施実態調査結果

【調査票送付:47 都道府県/回答総数:43道府県】

基本データ

1.第二種社会福祉事業届出の増減

①2022 年度中の新規届出について

2022 年度中の新規届け出なし

②2022 年度中の届出取り消し手続きについて

2022 年度中の取り消し手続きなし

①育成促進事業

2.都道府県における補助犬使用者数(2023 年 3 月 31 日現在)

	いる	いない	不明	回答なし
盲導犬	98% (42)	0% (0)	0% (0)	2% (1)
介助犬	47% (20)	44% (19)	5% (2)	5% (2)
聴導犬	30% (13)	58% (25)	7% (3)	5% (2)

3.2022 年度中の補助犬の希望者について

	希望あり	希望なし	無回答	合計
盲導犬	74% (32)	26% (11)	0% (0)	43 道府県
介助犬	21% (9)	72% (31)	7% (3)	43 道府県
聴導犬	5% (2)	88% (38)	7% (3)	43 道府県

	希望ありと回答した都道府県における希望者の件数				
	1 件	2~3 件	4~5 件	6~8 件	9 件以上(最大の数)
盲導犬	12	13	4	2	1(9)
介助犬	7	1	1	0	0
聴導犬	2	0	0	0	0

4.2022 年度の補助犬育成促進事業の実施について

	実施あり	実施なし	回答なし	合計
盲導犬	74% (32)	26% (11)	0% (0)	43 道府県
介助犬	21% (9)	67% (29)	12% (5)	43 道府県
聴導犬	5% (2)	84% (36)	12% (5)	43 道府県

5.2023 年度の補助犬育成促進事業の実施予定について

★補助犬の種類に限らずある:19%(8) 未定:7%(3)

	ある	ない	未定	合計
盲導犬	79% (30)	16% (6)	5% (2)	35 県
介助犬	18% (7)	74% (28)	8% (3)	35 県
聴導犬	11% (4)	82% (31)	8% (3)	35 県

*6 府県については、補助犬種類に限らず実施予定あり、または、未定、を重複回答

6.補助犬育成促進事業の助成金交付先について

	希望者が選んだ 訓練事業者	指定する団体	委託する団体	回答なし	合計
盲導犬	74%(32)	5%(2)	16%(7)	5%(2)	43 道府県
介助犬	72(31)	5%(2)	9%(4)	14%(6)	43 道府県
聴導犬	72(31)	5%(2)	9%(4)	14%(6)	43 道府県

7.希望者の募集方法について

随時募集	一定の期間を定めて 募集	先着順	その他	回答無
47%(20)	35%(15)	5%(2)	9%(4)	5%(2)

*その他貸与希望者は訓練事業者を通じて貸与希望申請となっている。／県内ユーザーに貸与決定した育成事業者に対する補助事業を行っているため、県は貸与候補者の募集・調査・選定は行っていない。(県内に1年以上居住していることなどの要件はある。)／補助犬希望者が訓練事業者に直接申し込む。／年度前に委託団体に補助犬ユーザーの見込みを調査。

8.「一定の期間を定めて募集」の結果、実施予定数に達しなかった場合の再募集について(対象数:15)

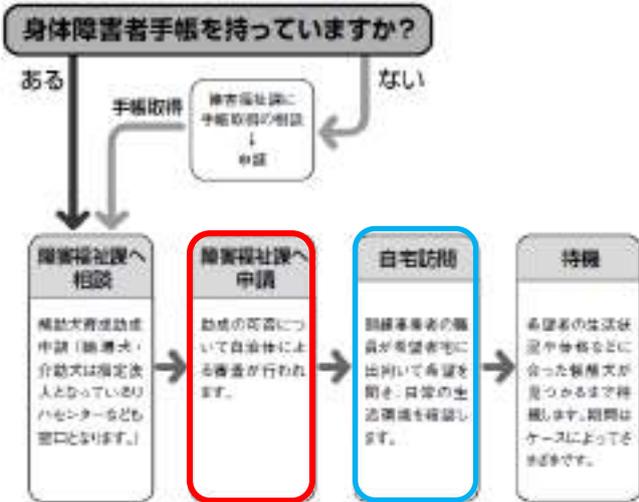
実施している	実施していない	状況により検討
27%(4)	27%(4)	47%(7)

②育成計画の作成

9.助成候補者の決定における調査と評価について

【参考】助成候補者決定における調査、評価について

以下、補助犬希望者の希望～合同訓練前までの流れです。



赤枠内が「調査」の部分です。
 今回の設問では、補助犬希望者が障害福祉課へ申請した際、助成の可否について自治体による審査が行われる過程を「調査」としています。

青枠内が「評価」の部分です。
 今回の設問では、自治体による審査(調査)を通過した補助犬希望者の日常の生活環境等を確認する過程を「評価」としています。

1)調査の実施と実施方法について

【実施】

実施している	実施していない
84%(36)	16%(7)

【方法】(対象:36)

都道府県主体	委託	その他
81%(29)	19%(7)	0%(0)

以下、調査を委託している場合のみ(対象数:7)回答

・委託費用について、「身体障害者補助犬育成促進事業補助金」(地域生活支援事業)利用の有無

利用あり	利用なし	実績なし
29%(2)	14%(1)	57%(4)

・調査時の担当者立会いについて

立会いあり	立会いなし	回答無
14%(1)	57%(4)	29%(2)

・委託した調査の報告書提出について

提出を求めている	提出を求めている	回答無
14%(1)	57%(4)	29%(2)

2) 評価の実施と実施方法について

【実施】

実施している	実施していない	回答無
67%(29)	30%(13)	2%(1)

【方法】(対象:29)

都道府県主体	委託	その他	回答無
38%(11)	59%(17)	0%(0)	3%(1)

以下、評価を委託している場合のみ(対象数:17)回答

・委託費用について、「身体障害者補助犬育成促進事業補助金」(地域生活支援事業)利用の有無

利用あり	利用なし	実績なし	回答無
35%(6)	29%(5)	29%(5)	6%(1)

・評価時の担当者立会いについて

立会いあり	立会いなし
6%(1)	94%(16)

・委託した評価の報告書提出について

提出を求めている	提出を求めている
65%(11)	35%(6)

理解促進・普及啓発

10.補助犬法や補助犬に関する取り組み(助成施策、理解促進・啓発、身体障害者補助犬育成計画の作成等の実施や実施予定について。また、その取り組みに関する具体的な内容や、おおよその費用、「身体障害者補助犬育成促進事業」(地域生活支援事業)の補助金利用有無について。

【助成施策】:43 道府県

2022 年度:助成施策の実施	
実施あり	21%(9)
実施なし	79%(34)

2023 年度:助成施策の実施予定	
実施あり	23%(10)
実施なし	77%(33)

■補助犬の健康管理費(予防接種、医療費など)

都道府県	2022 年度	2023 年度	内容	課題	費用	補助金利用
埼玉県	○	○	補助犬の健康管理及び疾病等の治療に必要な経費を、補助犬を使用する身体障害者に助成する	上限額の増加	^	×
石川県	○	○	県内の補助犬ユーザー団体に基金を設立し、助成対象費用計の半額を対象に、1頭当たり年間 11,000 円を上限に助成する	特になし	183,029	×
福井県	○	○	身体障害者補助犬の衛生管理に必要な処置を県獣医師会に委託	-	366,780	×
長野県	○	○	県動物愛護センターにおいて、補助犬の健康診断(身体検査、血液検査、糞便検査、尿検査、爪切り等)を無料で行っている。(ドッグドッグ事業)	センターの獣医師が県内各地のユーザーの自宅等まで訪問して実施しているため、検査検体の採材から検査まで最大で3時間かかり、検査結果に影響がある場合がある。移動経費や疾病の経過観察を考慮するとかかりつけ医への受診に補助金を支給する方が効果的かもしれない。	なし	×

三重県	○	○	全国盲導犬協会、獣医医師会等の助成	特になし	30,000	×
滋賀県	×	○	補助犬の健康管理費を助成する	上限額の設定	280,000	×
鳥取県	○	○	予防接種代の補助	-	※実費相当	○
島根県	○	○	県内の補助犬使用者に、4万円を上限として、補助犬の予防接種・医療費の助成を行う。	飼育のための必要経費(主に餌代)について助成の要望がある。	1頭あたり上限4万円	×
香川県	○	○	補助犬を使用する者に対して、厚生労働省が作成した「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン」に定められているものを対象に、年間1回、1人につき20,000円を限度として助成する。	手続きの簡略化、予算確保	71,000	×

■飼育のための必要経費(餌など)

都道府県	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
青森県	○	○	補助犬の貸与に必要な経費	特になし	2,038,000	×
三重県	○	○	三重補助犬普及協会から助成(寄付金対応)	特になし	30,000	×

【理解促進】

2022年度:理解促進事業の実施	
実施あり	26%(11)
実施なし	74%(32)

2023年度:理解促進事業の実施予定	
実施予定あり	35%(15)
実施予定なし	65%(28)

■市町村担当者向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用(円)	補助金利用
青森県	○	×	ほじょ犬もっと知って BOOK 送付	-	-	0	×
山形県	○	×	日本介助犬協会によるキャラバン受入れ	職員の意識向上	県事業としての研修会の実施等は予算等の都合上困難	0	×
愛知県	○	○	市町村障害保健福祉主管課長会議(書面開催)において、補助犬の普及啓発を実施	市町村担当者の理解が深まった。	-	0	×
愛知県	○	○	県及び市町村の障害者(児)福祉担当職員新任研修において、介助犬に関する講義を実施	新任の職員に補助犬について周知することができた。	-	236,000	○
大分県	○	○	公益財団法人日本盲導犬協会や国立障害者リハビリセンター主催の研修会の案内	市町村担当者に対する補助犬への理解促進、普及	案内しても参加に繋がりにくい	0	×

■受け入れ事業者向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
福島県	×	○	盲導犬の入店を断られたという相談があることから、補助犬についての理解促進を図るため、飲食店や宿泊施設等の業種ごとに、実際の店舗等を会場として、補助犬の役割やユーザーに対する合理的配慮が必要なポイント等についての研修を実施する。今年度は宿泊施設向けに1回実施し、今後観光事業者、宿泊施設、飲食業事業者向けに2回開催する予定である。	補助犬の役割や補助犬法等の周知に加え、具体的な接客方法についても考えていただくきっかけとなった。	今年度は宿泊施設向けに業種が偏ってしまったため、飲食店や小売店等、他の業種向けにも研修を実施したい。また、研修の実施方法について、当初は客室等を借りて、より実践的に盲導犬ユーザーに対する接客の実習を予定していたが、参加人数や客室を借りられないなどの理由により、代表者に部屋の写真を見て説明を考えてもらうような模擬的な実習を行った。	171,600	○
静岡県	○	○	講習会	-	-	0	○
大阪府	○	○	府内観光事業者に向けて、観光施設における心のバリアフリー認定(観光庁実施)取得のためのセミナーで補助犬について講演を行った	-	-	-	×

■一般市民向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
群馬県	×	○	ショッピングモールでのイベント	補助犬への理解促進	-	0	×
静岡県	○	○	講習会	-	-	0	○
三重県	○	○	イベント等における啓発活動	多くの方に理解促進	特になし	-	×
奈良県	○	○	ショッピングモールや図書情報館など、ポスター等の展示をして、啓発活動を行った。	知ってもらうことで、効果は出ている。	いろいろな場所で啓発することが必要。飲食店等が集まる研修会にも補助犬についてのパンフレットを配布しているが、周知が足りないことが課題。	0	○
鳥取県	×	○	盲学校と連携した盲導犬の理解啓発、あいサポーター研修	一般の方及び見えない・見えにくい方に盲導犬体験等を通じた盲導犬等への理解が得られた。	理解啓発の機会の更なる創出	-	×
島根県	×	○	委託団体のイベントで補助犬ユーザーの団体が啓発ブースを出した。(イベント名:ららふえすた)	一般市民への補助犬のかかわりについての周知。	啓発活動を継続的に行える機会とマンパワーが不足している。	0	×
広島県	○	○	実感を持って知ってもらうために実際の補助犬ユーザーの感想や訓練士からの補助犬の説明等。広島県人権啓発イベントヒューマンフェスタでの貸与式・デモンストレーション・特設サイトでの動画配信。	-	-	40,000	×

広島県	○	○	実感を持って知ってもらうために、あいサポート企業・団体への研修の中で補助犬ユーザーの講義を行った。	-	-	0	×
-----	---	---	---	---	---	---	---

■児童・生徒向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
長野県	×	×	「子ども記者体験」にて、小学生に対し補助犬についての説明を行っていたが、コロナ渦により近年は行っていない。	-	-	-	-
静岡県	○	○	講習会	-	-	0	○
三重県	○	○	補助犬使用者の講義	理解促進	特になし	-	×
兵庫県	○	○	学校等への出前講座	-	-	158,000	○
鳥取県	×	○	盲学校と連携した盲導犬の理解啓発、あいサポーター研修	一般の方及び見えない・見えにくい方に盲導犬体験等を通じた盲導犬等への理解が得られた。	理解啓発の機会の更なる創出	-	×
広島県	×	○	児童期から補助犬について知ってもらうため、あいサポート団体である小学校への出前講座の中で補助犬について啓発をおこなった。	-	-	0	×

■障害当事者向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
鳥取県	×	○	盲学校と連携した盲導犬の理解啓発、あいサポーター研修	一般の方及び見えない・見えにくい方に盲導犬体験等を通じた盲導犬等への理解が得られた。	理解啓発の機会の更なる創出	-	×

■補助犬使用者向け

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
三重県	○	○	訓練施設の講義など	困りごとなど相談ができる	特になし	-	×

■その他

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	×	○	福祉まちづくり連絡協議会において、市町村、事業者等の各分野の代表者へ補助犬受入について説明	福祉以外の団体等へも補助犬の受入について、周知することができた。	-	-	×
京都府	×	○	食品衛生協会への、身体障害者補助犬制度の説明、補助犬受け入れへの理解促進、厚労省補助犬リーフレット配布	補助犬受け入れに対する理解促進	飲食店での補助犬の受け入れに対する理解を深め、食品協会からも補助犬の啓発を促す。	0	×
兵庫県	×	○	医療従事者向け研修会	-	-	35,666	○
沖縄県	○	○	飲食店において、補助犬同伴での入店を拒否されたとの連絡があり、飲食店関係団体に周知文を発送した。	補助犬に対する理解を深め、障害者の社会参加を促す。	飲食店だけでなく、飲食店利用者に対しても補助犬の理解を深める必要がある。(客からのクレームで入店できない)	0	×

【啓発活動】

2022 年度:啓発活動事業の実施	
実施あり	84%(36)
実施なし	16%(7)

2023 年度:啓発活動事業の実施予定	
実施あり	88%(38)
実施なし	12%(5)

■補助犬啓発用のウェブサイト掲載

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	○	○	道のホームページ上にて補助犬の役割や受け入れ方等について掲載	補助犬について、広く道民へ周知することができた。	-	-	×
山形県	○	○	県 HP に補助犬に関する情報を掲載	補助犬に関する理解促進	HP にアクセスした人にか情報が届かない	-	×
群馬県	○	○	県のホームページに補助犬の概要や同伴の受入れ義務及び、補助犬に関する相談窓口の案内を掲載	補助犬への理解促進	-	-	×
千葉県	○	○	県 HP に厚生労働省作成の動画の URL を掲載	補助犬の受け入れ義務等の周知に繋がった	より多くの人に情報を届ける必要がある。	-	×
神奈川県	○	○	県 HP に補助犬に係るページを掲載	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力	-	-	×
富山県	○	○	県ホームページ上に補助犬に関する情報及びリーフレット等のデータを掲載	補助犬に関する理解促進	-	-	×
石川県	○	○	障害の啓発イベント内に補助犬育成団体を招待し、普及啓発を行っている	補助犬に対する理解が深まり、ユーザーの社会参加を促進する	特になし	8,300,000	×

長野県	○	○	県のホームページに補助犬の概要や同様の受入れ義務及び、補助犬に関する相談窓口の案内を掲載	補助犬に関する普及啓発	-	-	×
愛知県	○	○	県ホームページに補助犬の概要、相談窓口等を掲載	県民の補助犬に関する理解促進	-	-	×
鳥取県	○	○	ホームページへの掲載	県民へ周知が図られた	理解啓発の機会の更なる創出	-	×
岡山県	○	○	岡山県HPに身体障害者補助犬について掲載	補助犬に関する普及啓発	-	-	×
広島県	○	○	HP への啓発動画や貸与式の様子の掲載				

■厚生労働省リーフレット等の配布

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	○	○	希望する事業所や市町村等に対し、補助犬同伴ステッカーやリーフレット等を配布	事業所等での掲示による補助犬法の普及ができた。	-	-	×
宮城県	○	○	厚生労働省のリーフレット等を障害者支援団体、市町村、県の関係機関に送付。	県関係機関の職員等の身体障害者補助犬に対する認識の拡大。	-	-	×
秋田県	○	○	厚労省リーフレット等の送付	-	-	-	×
山形県	○	○	厚労省のほじょ犬ステッカーの配布	補助犬に関する理解促進、県民の意識向上	ステッカーを貼ってくれる店舗等はまだまだ少なく、周知が進んでいるとは言い難い	-	×

福島県	×	○	今年度は9月1日に県主催の「農業総合センターまつり」において、盲導犬PR 犬によるデモンストレーションを行い、厚労省作成のリーフレットを配布した。	来場者に身体障害者補助犬法や盲導犬について周知する機会となった。	会場が屋外だったため、熱中症の心配があった。今後は屋内での活動ができるよう検討したい。	118,160	○
栃木県	○	○	民間企業へ補助犬ステッカーの配布	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	-	×
群馬県	○	○	希望者、市町村、県の関係機関に送付	補助犬への理解促進	-	-	×
埼玉県	○	○	関係各所への配布	普及啓発	特に無し	-	×
千葉県	○	○	郵便局へのポスターの掲示依頼	補助犬の受け入れ義務等の周知に繋がった	郵便局だけでなく、幅広い施設で周知・啓発を行う必要がある。	-	×
神奈川県	○	○	県管轄の保健福祉事務所や希望のあった店舗等に対するステッカーやパンフレットの配布	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力	更なる普及啓発	-	×
新潟県	○	○	県民の制度への理解を促進するために、国・県等の作成したリーフレット等を配布(在庫にて対応)	約 3,000 枚配布	-	-	×
石川県	○	○	学校等で講演する補助犬ユーザーに配布用のリーフレットを配布している	補助犬に対する理解が深まり、ユーザーの社会参加を促進する	特になし	-	×
長野県	○	○	希望者にステッカー、パンフレット等を配布する	補助犬に関する普及啓発	-	-	×

岐阜県	○	○	県内企業より、ほじょ犬ステッカーの配布希望(店舗の入り口に掲示するため)があったため、ステッカーの配布を行った。	補助犬の受け入れについて周囲の理解を求め、普及啓発を図る。	-	-	×
愛知県	○	○	希望する施設等へのステッカー、リーフレットの配布や商業施設でのポスター掲示を実施	県民への普及啓発・理解促進	-	-	×
滋賀県	○	○	飲食店における補助犬の受け入れ拒否事例が過去に生じていたことから、飲食店の営業許可申請や更新を行う人に対してリーフレットおよびステッカーを配布している。	今年度、飲食店に関係した補助犬の受け入れ拒否の相談は0件となっている。	リーフレットの配布施設等の拡大	-	×
京都府	○	○	希望者への配布	補助犬への理解促進	-	-	×
大阪府	○	○	希望する府内事業者等に厚生労働省リーフレット、ステッカーを配布した	-	-	-	×
大阪府	○	○	SDGs 関連イベント、府内スーパーマーケット等でリーフレットを配布した	-	-	-	×
兵庫県	○	○	県内健康福祉事務所(保健所)を通じて管轄の飲食店、宿泊施設、医療機関等へ周知依頼	-	-	-	×
和歌山県	○	○	内容:医療機関への「補助犬ユーザー受け入れガイドブック」の配布 背景:医療従事者への理解促進のため。	・医療従事者への周知と理解促進	-	-	×

和歌山県	○	×	内容:人権フェスティバルにてリーフレットの配布(毎年実施) 背景:県民への理解促進のため。	・県民への周知と普及啓発	-	-	×
和歌山県	○	○	内容:県内郵便局でのポスターとリーフレットの配布 背景:県民への理解促進のため。	・県民への周知と普及啓発	-	-	×
島根県	○	○	補助犬同伴ステッカーの依頼連絡を受けた施設等に、その都度ステッカーとパンフレットを送付する。	盲導犬の同伴、受け入れについての理解、協力の促進。	送付依頼がある施設はステッカーを利用し受け入れに理解があると把握できるが、県内のどの施設がどの程度ステッカーを利用しているか等全体の状況把握はできていない。	-	×
島根県	○	○	障害者週間に、配布を希望した市町村にリーフレットを送付。	市町村と県の連携、盲導犬理解への共通理解へつながる。	市町村によって配布希望数に差がある。市町村の規模によるであろうが、より多くの市町村からより多くの配布希望があることを期待したい。	-	×
岡山県	○	○	依頼のあった市町村及び病院、企業等にステッカー等の送付	補助犬に関する普及啓発	-	-	×
広島県	○	○	ステッカーについての周知, 関係機関への配布	-	-	-	×
山口県	○	○	県庁エントランスホールでのポスター等展示、リーフレット等の配布	補助犬の普及啓発	-	-	×

山口県	×	○	盲導犬利用者へのリーフレットの配布	使用者による普及啓発、受け入れ拒否時の説明	-	-	×
福岡県	○	○	協力の得られた企業に対し、リーフレットやステッカーを配布	企業等の窓口において配架・掲示	-	-	×
熊本県	○	○	県医師会発行の会報誌に「ほじょ犬の普及啓発について」の原稿を掲載した。	補助犬の周知につながった。	掲載可能な広報紙等がないこと	-	×
大分県	○	○	希望者へ補助犬ステッカーの配布	補助犬の理解促進及び普及啓発	県で配布しているという周知が行き届いていない、ステッカーの貼り替えで求められることが多く効果を実感しにくい	-	×
宮崎県	○	○	ユーザーによる自主的な啓発活動(学校訪問)での使用	児童・生徒の補助犬への理解・啓発が促進された。	ユーザーは継続的に活動していくため、引き続きリーフレットを活用したいとのこと。	-	×
鹿児島県	○	○	同伴拒否があった事業所や希望があった場合に送付する。	リーフレット等を配布することで、事業所内でも理解促進に用いてもらえ、理解促進に繋がる。	補助犬に対する理解については、事業所に任せる形になる。	-	×

■広報誌等への記事掲載

都道府県	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
茨城県	×	○	身体障害者補助犬について、県広報誌への掲載	-	-	なし	×
千葉県	○	○	県SNSで介助犬についての情報を発信	介助犬に関する周知に繋がった	定期的な情報発信が必要。	-	×
神奈川県	○	○	毎日新聞に掲載	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力	-	-	×
新潟県	○	○	県の広報ツイッターで、制度の周知	多くの県民に補助犬制度を知ってもらいきっかけとなることを期待している	-	-	×
兵庫県	○	○	県発信のメールマガジンや県内のラジオ局のラジオ放送にて補助犬受け入れについて啓発	-	-	-	×
島根県	○	○	新聞広告への掲載。	盲導犬の同伴、受け入れについての理解、協力の促進。	本新聞への広告可能掲載回数は年一回なので、別の広報誌への掲載機会を増やす等、掲載可能な広報誌や広告機会を増やすこと。	-	×
岡山県	×	○	生活衛生関係者向けの県広報誌に厚生労働省リーフレットもって知って補助犬掲載。	補助犬に関する普及啓発、飲食店等への周知啓発	-	-	×
広島県	○	○	あいサポート企業・団体向けの広報誌あいサポ通信に補助犬の日等について記事掲載			-	×

山口県	○	○	県広報(新聞広告、県政放送 FM)での 給付事業の周知	給付事業の周知		-	×
香川県	○	○	商工会連合会の広報誌への記事掲載	補助犬の理解促進・啓発	特になし	-	×
鹿児島 県	○	○	同伴拒否をされないことがないよう、広 報番組による制度周知	広報番組により、より多くの人や事 業所に制度の周知に繋がった	-	-	×

■その他

都道 府県	2022 年度	2023 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
北海道	○	○	毎月開催している当課のイベントにお いて、補助犬にリーフレット等を設置 するとともに、年数回、訓練事業者の 協力の下、イベント会場において普及 啓発ブースの設置	大型商業施設内において、来場者 に対し、補助犬法の周知及び PR 犬による盲導犬の役割の紹介がで きた。	-	-	×
北海道	○	○	障がい者週間の普及啓発パネル展に おいて普及啓発ブースの設置	来庁者へ補助犬法や補助犬の役割 について広く周知することができ た。	-	-	×
青森県	○	○	ラジオで補助犬について紹介した。	一般市民向け周知を行った。	今後も引き続き行ってい く。	-	×
栃木県	○	○	県民への補助犬理解促進のため民間 企業との定期的な情報発信コーナー 等を利用。	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理 解が深まるが、興味関心 がない人まで理解を得るこ とは難しい。	-	×

栃木県	○	○	訓練主催者が主催するイベントや情報等の広報協力	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	-	×
栃木県	○	○	県民へ補助犬を理解してもらうために、県民の日に補助犬ブースを設置。	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	-	×
神奈川県	×	○	訓練事業所と連携したリーフレットを作成、配布予定	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力	-	不明	×
岐阜県	○	○	当課で作成している「障がい者福祉の手引」において、補助犬の貸与についてやほじょ犬マークを掲載し、障がいのある方や支援者等へ配布を行った。	補助犬についての理解促進・普及啓発を図る。	-	-	×
静岡県	○	○	啓発パンフレットの配布、広報啓発活動の実施	-	-	-	○
愛知県	○	○	ショッピングモールで啓発イベントを実施し、デモンストレーション等を行った。	実際に目にする、体験することによって、補助犬への理解をさらに深めてもらうことができた。	実施できる回数や地域に限られている。	236,000	○
三重県	○	○	補助犬に対する理解促進	障害者や補助犬に対する理解や支援は少なからず認められるようになってきた。	仕事での補助犬に対する対応等	203,000	○
大阪府	×	○	啓発用クリアファイル、ステッカーを作成し、公民連携による取り組みで配布予定	-	-	793,100 (作成費用として)	×

和歌山県	○	○	内容:小学生を対象とした講座の実施(県政おはなし講座、計2回)背景:県民への理解促進のため。	・県民への周知と理解促進	-	-	×
鳥取県	×	○	盲学校等と連携した体験機会の創出、研修実施	体験等を通じ、当事者等に理解促進等が図られた。	理解啓発の機会の更なる創出	-	×
島根県	×	○	盲導犬がバスに乗った時の配慮についての電子公告を2か月間市営バス内に掲載。	バス利用者に対して盲導犬への配慮や理解の一助となる。	一般市民への盲導犬の理解・啓発がどの程度進んだかの明確な評価ができかねること。	160,000	○
島根県	○	○	図書館での盲導犬パンフレットの設置。	一般市民へ向けた盲導犬理解への促進。	-	-	×
香川県	○	○	人権啓発行事である「じんけんフェスタ」において盲導犬ユーザーや補助犬訓練所による説明やデモンストレーション等	補助犬の理解促進・啓発	-	40,000	○
熊本県	×	○	県政広報ラジオで「身体障害者補助犬について」ラジオ広報を行った。	補助犬の周知につながった。	継続的に放送できるものではないこと	-	×
熊本県	×	○	ハートウィーク関連事業の中で、盲導犬ユーザーの方に講話をいただいた。	実際に体験談を話していただくことで、身近な課題として周知することにつながった。	同様の場がないこと	-	×
宮崎県	○	○	補助犬への理解促進として障害者週間にあわせて、庁内にリーフレット展示。	職員や県民に対して一定の理解が図られた。	啓発に関する広報を広く展開できるとよい。	-	×

【ニーズならびに供給体制の把握事業】

2022年度:把握事業実施		2023年度:把握事業実施予定	
実施あり	33%(14)	実施あり	35%(15)
実施なし	67%(29)	実施なし	65%(28)

■市区町村に対して調査

都道府県	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
宮城県	○	○	市町村に対し身体障害者補助犬に関する県民からの相談の有無等の調査を実施。	-	-	×
秋田県	○	○	市町村を通じて翌年度補助犬給付希望者の有無を調査	-	-	×
山形県	○	○	管内市町村に対して、補助犬に関する相談や給付希望の状況について調査を実施	特になし	-	×
長野県	○	○	年2回、市町村に対し補助犬 給付希望者の有無を調査	-	0	×

■障害者団体に対して調査

都道府県	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
新潟県	○	○	補助犬希望者の聞き取り調査	-	-	×
富山県	○	○	社会福祉法人富山県視覚障害者協会により補助犬希望者の有無等を把握	補助犬を利用しやすい環境の整備など	-	×
石川県	○	○	県内の補助犬利用者から補助犬希望者について情報提供を受けている	特になし	-	×

■訓練事業者に対して育成頭数の調査

都道府県	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
茨城県	×	○	-	-	-	×
群馬県	○	○	県内在住者の補助犬の使用状況等の確認	-	-	×
三重県	○	○	-	特になし	-	×
島根県	○	○	社会福祉法人島根ライトハウスに調査を依頼している。	-	-	×
熊本県	○	○	県内在住者の補助犬の使用状況等の確認	-	-	×
大分県	○	○	大分盲導犬協会、九州補助犬協会へ補助犬ユーザーの見込みを調査	-	-	×

■その他

都道府県	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
静岡県	○	○	補助犬希望者からの問合せ対応、利用者の状況把握(委託事業内で実施)	-	-	○
宮崎県	○	○	県内で稼働する補助犬を育成した訓練事業者に稼働状況や引退時期等の調査	特になし	-	×

【連携体制の取り組み】

2022 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	5%(2)
実施なし	95%(41)

2023 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	5%(2)
実施なし	95%(41)

■その他

都道府県	2022 年度	2023 年度	内容	課題	費用	補助金利用
広島県	○	○	ユーザーの会である広島ハーネスの会と定期的に情報共有等を行っている。	-	-	×
広島県	○	○	広島ハーネスの会, 広島市, 福山市, 呉市へユーザー等から相談が寄せられる度に, 県へ報告してもらい, 県から各機関へ情報提供を行う体制を構築している。	-	-	×
山口県	○	○	山口県盲導犬使用者双葉の会との意見交換	受け入れ拒否、盲導犬の健康管理等に要する費用の助成	-	×

④相談・問い合わせ

12. 補助犬に関する相談内容の記録、保管について

記録・保管している	記録・保管していない
88%(38)	12%(5)

13. 2022年度の補助犬に関する相談・苦情等について

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答なし
盲導犬	65%(28)	33%(14)	2%(1)
介助犬	19%(8)	79%(34)	2%(1)
聴導犬	9%(4)	88%(38)	2%(1)

13-1. 補助犬に関する問い合わせの項目と相談者について

1) 盲導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般市 民	その他	計
訓練事業者関連	5	36	1	0	0	0	0	42
資料請求	0	30	1	2	0	1	7	41
その他問い合わせ	0	22	1	3	0	1	2	29
同伴拒否関連	40	0	0	5	1	3	3	52
その他苦情	0	0	0	0	0	1	6	7

2) 介助犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般市 民	その他	計
訓練事業者関連	1	3	0	0	0	0	2	6
資料請求	0	17	0	0	0	0	0	17
その他問い合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴拒否関連	2	0	0	0	0	0	0	2
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

3)聴導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般市 民	その他	計
訓練事業者関連	0	0	0	0	0	0	0	0
資料請求	0	6	0	0	0	0	0	6
その他問合わせ	0	1	0	0	0	0	1	2
同伴拒否関連	1	0	0	0	0	0	0	1
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

13—2.相談の具体的な内容

1)盲導犬

■訓練事業者に関する紹介や相談

相談者	内容	対応
使用者	訓練施設での担当者の対応について相談があった。	該当訓練施設に情報提供を行った。
希望者	補助犬の給付を受けたいと相談があった。	訓練施設の情報提供を行った。
家族	家族から申請書あり、視覚障害手帳 2 級(県 1 級)貸与希望	家族から申請書あり、手帳 2 級(県 1 級)のため、訓練施設へ相談、紹介。必要としている人に貸与(寄付金)

■資料請求

相談者	内容	対応
市民一般	補助犬ステッカーの配布依頼	配布依頼のあった施設、店舗等へ補助犬ステッカー及びパンフレットを配布。
その他	くらしと住まいをサポートするNPO法人から、啓発資材の問い合わせ。	ポスター、ステッカーの送付。
	補助犬ステッカー、リーフレット希望。	送付対応。

■その他の問い合わせ

相談者	内容	対応
訓練事業者	盲導犬の引退に関する連絡(団体から)	ユーザーの氏名を確認し記録した。また、代替の希望の有無について聴取した。
	訓練事業者から盲導犬の引退に伴い、令和4年度の給付事業の状況に関する問い合わせ(1件)	令和4年度の給付事業の枠は埋まっている旨回答
一般市民	過去の盲導犬虐待疑いに関する問い合わせ	当時の記録を探す旨を伝え、質問者から後日連絡をいただく予定だったが、その後連絡がない。
その他	社会福祉協議会や市役所から盲導犬ユーザーの団体に関する照会(2件)	地域で活動している盲導犬使用者の会の会長の連絡先を回答

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

【医療機関等】

相談者	内容	対応
使用者	歯科医院への予約電話で盲導犬ユーザーであることを伝えたところ、対応できないと受診を拒否された。	歯科医院から状況の聞き取りを行うとともに、補助犬リーフレットを送付し適切な対応を依頼した。
	補助犬使用者による医療機関での受け入れ拒否相談	当該施設の担当者に連絡し、事情・対応方針を聞き取りの上補助犬使用者に報告
	有料老人ホームの受け入れ拒否	訓練事業者と協議・相手方に説明

【飲食店・小売店】

相談者	内容	対応
使用者	盲導犬ユーザーが中華料理店で昼食をとろうとしたところ、盲導犬を同伴しての入店を断られたとのこと。	法律の主旨や、盲導犬のことを理会されていないお客様への説明などをお願いし、さらに、次に盲導犬を同伴している方の来店があった際には入店させていただけるよう依頼
使用者	盲導犬ユーザーから、餃子を食べることになり、電話で盲導犬の同伴を確認したところ、複数の飲食店から受け入れを拒否された。飲食業組合へ言ってほしい。	県食品衛生協会と市食品生活衛生課に情報共有し、補助犬法について周知した。
	飲食店からの入店拒否	身体障害者補助犬法により、入店を拒否していけないことを説明。啓発を依頼。
	飲食店への同伴拒否	事業者へ受入について説明し、理解を得た
	飲食店等への入店に際し補助犬の同伴を拒否された。	店舗を直接訪問し、リーフレット等により補助犬法の趣旨を説明し、理解を求めた。
	飲食店にて盲導犬ユーザーを含む視覚障害者団体の受入拒否があった。	県担当者が店を訪問し、制度の説明を行った。
	飲食店等での入店に際し、盲導犬を同伴することを拒否された	対象店舗等へ聞き取りを行い、身体障害者補助犬について説明、補助犬の同伴に理解を求めた
	盲導犬ユーザーの方が、パン屋へ事前に電話をして、来店したい旨伝えたと断られた。	県担当者が相談者およびパン屋に電話で状況等を確認した後、陳列スペースには入らず、店員へ商品の希望を伝え、店員が相談者まで商品を運ぶ方法で両者納得された。
	飲食店での入店拒否	飲食店に対し、状況の確認と「補助犬ユーザーの受入れガイドブック（飲食店編）」を配布
	県内を観光予定の盲導犬ユーザーが飲食店の予約を 4 店舗に拒否された	所在地の市に連絡し、4 店舗へ説明。別の飲食店を予約できた。

	<p>店員が、「テラス席はペット可」とのことで案内しようとしたが、季節が寒いために店内での飲食を希望したところ、店員は「盲導犬はちょっと…」「他のお客様に迷惑がかかる」、「犬アレルギーの方が居たら対応できない」と断ってきた。</p> <p>・最終的に店員より「他のお客様が少なくなればテーブル席を作る」と言われたが、「それでは別扱いとなるので座りたくない」と拒否し、「盲導犬はペットではなく補助犬なのだからきちんと理解して欲しい」と言い店を後にした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対応した内容の確認をし、身体障害者補助犬法、県の障害者差別に関する条例の説明を行った。 ・あいサポート運動の受講の検討依頼。 ・不動産業を展開されているとのことでサービスの提供(本件)に加えて、不動産に関する差別についても条例ガイドラインの確認を行った。
<p style="text-align: center;">使用者</p>	<p>日本料理のお店に盲導犬同伴での当日予約の電話をしたところ、午前中は座席が空いているとの話だったが、上司に確認するので、午後連絡を入れるよう言われたので、連絡すると、「満席」と言われた。「盲導犬の話はどうなっているのか。」とい質問したところ、個室であれば、良いがとの返答だったとのこと。個室以外は他のお客様がいるので、と断られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者補助犬法”と“県の条例”について、説明を行った。 →従業員へ“身体障害者補助犬法”と“県の条例”盲導犬の受け入れについてなど周知し、研修を実施済み。 →受け入れ時は半個室で受け入れているが、犬アレルギーの方への配慮として隣席の方に犬アレルギーについての確認はしている。 →今後は法令遵守し、他客から苦情が出ても説明の上でユーザーを受け入れていく。 ・補助犬ステッカーのホテル入口と日本料理店の 2 カ所に掲示をお願いした。 ・あいサポート運動について説明し、新人・管理職研修などでの活用をお願いした。
<p style="text-align: center;">一般市民</p>	<p>県外からの旅行者が、盲導犬同伴で飲食店を利用しようとしたところ、全て入店拒否にあった。補助犬に関する普及啓発を徹底してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内の飲食店関係団体(県飲食業生活衛生同業組合、県社交飲食業生活衛生同業組合)構成員への補助犬に関する理解促進をするよう文書を送付。 ②飲食店の営業許可窓口にて補助犬に関するパンフレット等を設置

その他	<p>市の補助犬担当者から問い合わせがあった。市の盲導犬ユーザーが飲食店へ盲導犬の同伴を確認したところ、4店舗は即答で入店を拒否された。また、2店舗は受け入れが認められたが、1店舗は「テーブル席なら可能」、もう1店舗は「盲導犬を受け入れた経験がないので座敷以外なら可能と言われた。今後、市が6店舗への指導をするに当たり、即答で拒否した4店舗には、補助犬法等の説明をし、理解を求めていく。条件付きで許可をした2店舗については、受け入れる意思があるので、理解促進のためにどのような指導がよいのか検討をしている。そこで、県は条件付きで許可をした店舗に対し、どのような指導をするのか教えてほしい。</p>	<p>市の担当者には、「ユーザーは盲導犬の行動管理や衛生管理が義務付けられている。座敷に上がる際には、タオル等で盲導犬の足を拭き、座敷では敷物を敷く等の配慮をする。また、盲導犬のブラッシングやシャンプー、爪切りを行い、畳を傷つけたり汚したりすることはないと伝え、理解を求めていくことがよいのではないかと助言した。</p>
-----	--	--

【レジャー施設、コンサートホール等】

相談者	内容	対応
使用者	入浴施設を利用するために、予約の電話をしたところ、受け入れ体制が整っていないとの理由で拒否されたとのこと	当該施設に連絡し状況を確認し、より良い解決策を見つけるよう対応方法の助言を行った
	競馬場への受け入れ拒否	同伴の拒否ができない旨を周知してもらう
	レンタカー利用拒否	当該事業者への状況確認及び受け入れ義務等の説明
	使用者から、県施設でのイベントに盲導犬同伴で行ったが、入場を拒否された。	県有施設は盲導犬OKであるが、職員に周知ができていなかった。改めて周知をお願いする。
	宿泊施設・観光施設において盲導犬同伴の受け入れを拒否された。	各施設に対して補助犬法の趣旨をお伝えし、施設職員に理解いただいた。また、相談者に対しても上記のことをお伝えし、理解いただいた。
一般市民	支援者から、盲導犬ユーザーを含むグループで市の公的な祭りへ参加しようとしたところ、実行委員会から盲導犬は光や音に反応し他の者に危害を加えるという理由でユーザーの参加を拒否された。市と実行委員会に指導してほしい。	当該市と実行委員会へ情報共有を行った。

【宿泊施設】

相談者	内容	対応
使用者	温泉旅館に宿泊したところ、廊下にある休憩場所を使わせてもらえなかったとのこと。	当該旅館に連絡し状況を確認し、対応方法の助言を行った
	宿泊施設利用拒否	他県の宿泊施設であったため、他県の補助犬担当者に対応を依頼。
	補助犬使用者による宿泊施設での受け入れ拒否相談	当該施設の担当者に連絡し、事情・対応方針を聞き取りの上、補助犬使用者に報告
	宿泊施設・観光施設において盲導犬同伴の受け入れを拒否された。	各施設に対して補助犬法の趣旨をお伝えし、施設職員に理解いただいた。また、相談者に対しても上記のことをお伝えし、理解いただいた。
業者 訓練事	県内の民間宿泊施設において、盲導犬の受け入れ拒否事案があった。	訓練事業者及び県担当課において、当該施設に対し補助犬の説明を行い、理解を得た。

【公共交通機関】

相談者	内容	対応
使用者	タクシーの乗車拒否について	タクシー会社、への状況確認、聞き取り。タクシー会社では該当従業者への指導を行う対応をいただいた。
	盲導犬のタクシー乗車拒否があった。	タクシー協会へ補助犬に関する説明と理解のお願い。

【その他】

相談者	内容	対応
業者 訓練事	盲ろう者支援センターの補助犬ユーザーへの支援内容について相談。	該当の支援センターへ補助犬に関する説明と理解のお願い。

■その他苦情等

相談者	内容	対応
市一般 市民	補助犬虐待について県民から情報提供があった。	動物病院に健康状態等の聞き取りを行う等, 確認を行った。(虐待なし)

2) 介助犬

■ 訓練事業者の紹介

相談者	内容	対応
使用者	介助犬の申請に関する代替相談	給付に係る手続きの流れを説明、案内した。
希望者	介助犬の申請に関する相談	給付に係る手続きの流れを説明、案内した。
	介助犬を給付してほしい。	補助対象外であったため介助犬協会へつないだが、ご家族の理解を得られなかったため、給付せず。
その他	介助犬の貸与に至るまでの流れについて	当事者が 13 歳だったため、18 歳以下であれば貸与が難しい旨伝え、18 歳以上の取扱いについては厚労省の HP に訓練事業者一覧が掲載されているので、確認、相談するよう伝えた。
	引退した介助犬の飼養先	育成した訓練事業者への連絡を案内した。

■ 介助犬同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

相談者	内容	対応
使用者	飲食店等への入店に際し補助犬の同伴を拒否された。	店舗を直接訪問し、リーフレット等により補助犬法の趣旨を説明し、理解を求めた。
	飲食店への受け入れ拒否	事実確認及び同伴の拒否ができない旨の連絡

3)聴導犬

■その他問い合わせ

相談者	内容	対応
希望者	聴導犬の給付に関する相談	給付事業について案内
その他	市町村担当者より、聴導犬を使いたいがどうすればよいかと来られた市民の方に対する回答内容についての相談。	県内での現状(実働数なし、聴導犬の予算つけていない等)を説明の上、希望者本人へは、聴導犬協会を紹介し、問い合わせさせていただくよう伝えてもらう。

■聴導犬同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

相談者	内容	対応
使用者	飲食店等において、補助犬の入店が拒否された。	事業者に対し、身体障害者差別解消法、身体障害者補助犬法について説明し、趣旨について理解してもらった。また、県からリーフレットやステッカー等を送付した。

14.補助犬窓口の存在、目的、業務内容に関わる普及啓発活動の実施について

実施している	実施していない
84%(36)	16%(7)

具体的な普及啓発の実施方法

都道府県	内容
北海道	盲導犬・介助犬・聴導犬のそれぞれの役割と相談窓口の連作先等をホームページ上で周知。
青森県	県ホームページにおいて、補助犬に係る説明や使用方法等について紹介している。
宮城県	県のホームページで窓口等について紹介
秋田県	県公式ウェブサイトに掲載
福島県	県障がい福祉課のホームページにて、補助犬相談窓口について掲載している。
茨城県	ホームページで窓口について紹介している
栃木県	ホームページ上に掲載
群馬県	県 WEB サイトで紹介
埼玉県	Web サイトや広報誌で窓口について紹介している
千葉県	県ホームページで相談窓口について紹介している。
神奈川県	県HPで紹介している。
新潟県	県のホームページ、県作成のリーフレット等で、補助犬の相談窓口について紹介している。
富山県	県ホームページによる周知
石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・課の HP に窓口について記載している ・県民の集まるイベント等、様々な機会を活用して普及啓発を行っている。
福井県	県ホームページにおいて、同伴受け入れに関することや相談窓口を掲載
山梨県	Web サイトで窓口について紹介している
長野県	補助犬給付時、県ホームページ、福祉のしおり(県が作成する福祉施策パンフレット)等において周知している。
岐阜県	当課で作成している「障がい者福祉の手引き」において、当課を問い合わせ先として紹介している。
静岡県	障害福祉のしおり、静岡県補助犬支援センターHP において相談窓口の案内をおこなっている。
愛知県	県の Web サイトで窓口について紹介している。
三重県	三重補助犬普及協会パンフレット、ホームページ等
滋賀県	県ホームページにて記載している。
京都府	厚労省・京都府 WEB サイト
大阪府	府 Web サイト等で窓口について紹介している
兵庫県	県のホームページや広報誌で窓口について紹介している。
奈良県	県庁 HP やまほろば「あいサポート運動」の研修等で紹介している。
鳥取県	ホームページで紹介している。
島根県	県ホームページへの掲載、広報誌への掲載。

岡山県	県HPで相談窓口のことを紹介している。
広島県	広島県 HP に情報を掲載している。
山口県	県 HP に相談窓口を掲載
愛媛県	県 HP 等を通じて紹介している。
佐賀県	県 HP にて紹介している
大分県	県が発行する「障がい者福祉のしおり」(冊子)にて補助犬の貸与や相談に関する窓口紹介
鹿児島県	県ホームページにて、相談窓口の連絡先を掲載している。
沖縄県	Web サイトで窓口について紹介している

図1 盲導犬・介助犬・聴導犬 過去10年間に関する希望相談の有無:都道府県(2011~2022年度)

*2019~2020年は covid-19 の影響により調査休止

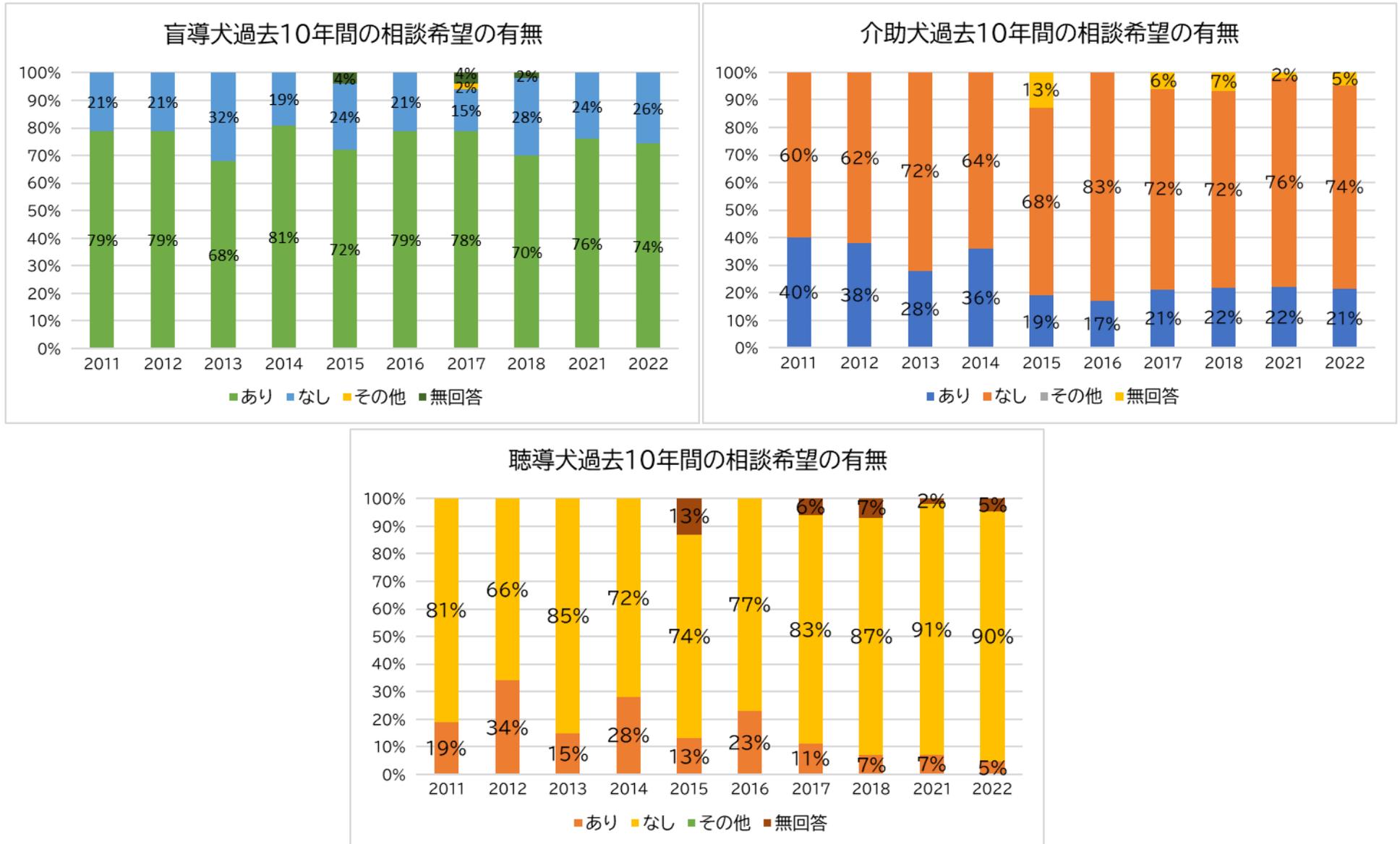


図2 2022年度 身体障害者補助犬育成補助事業助成金

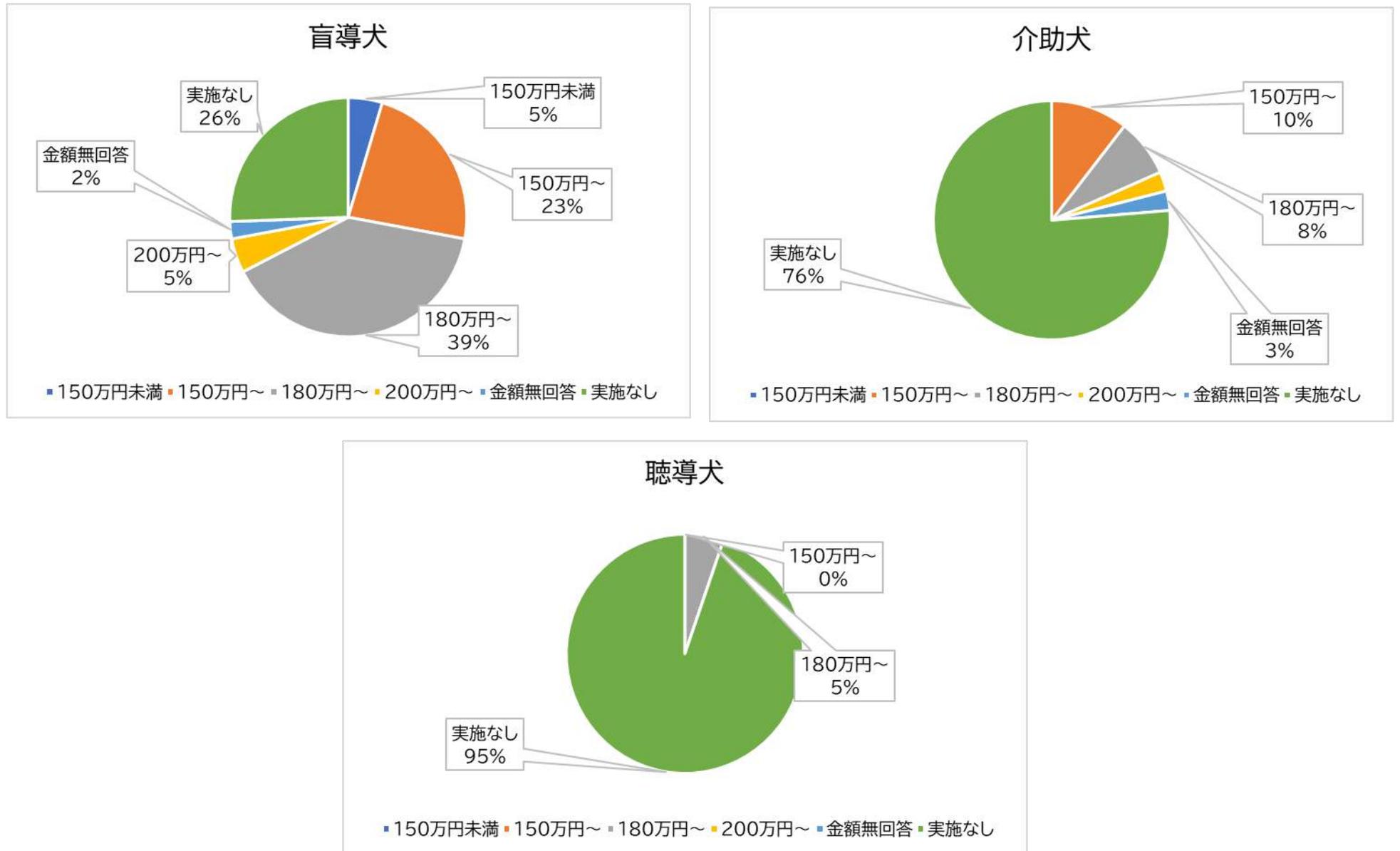


図3 2011～2022年度の補助犬育成補助事業実施件数

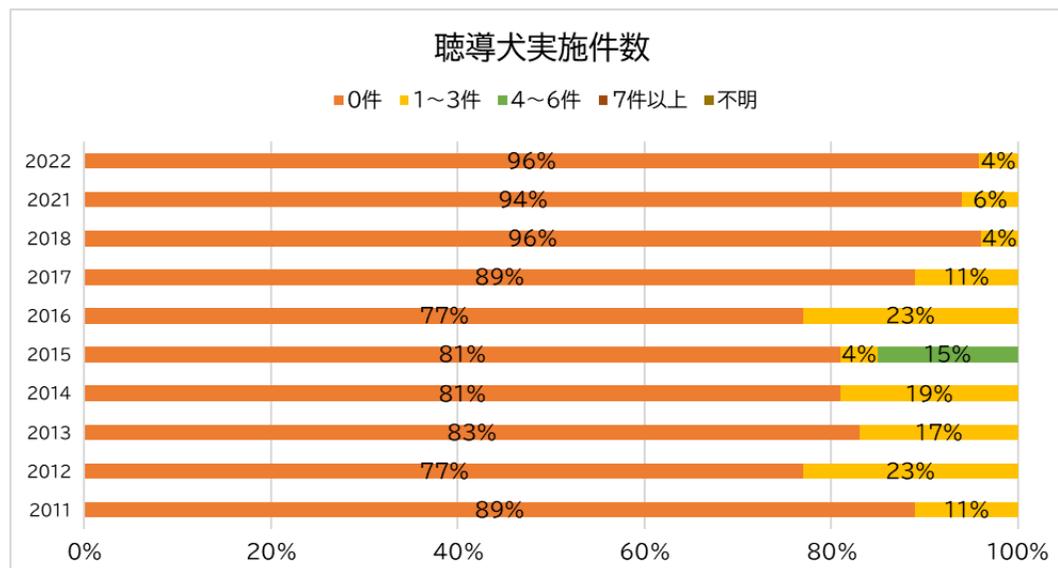
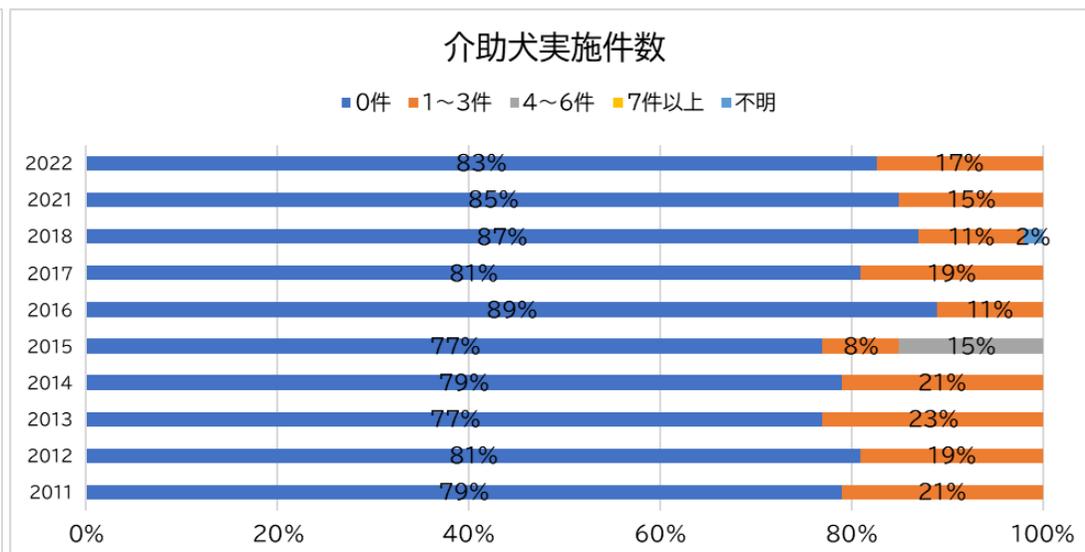
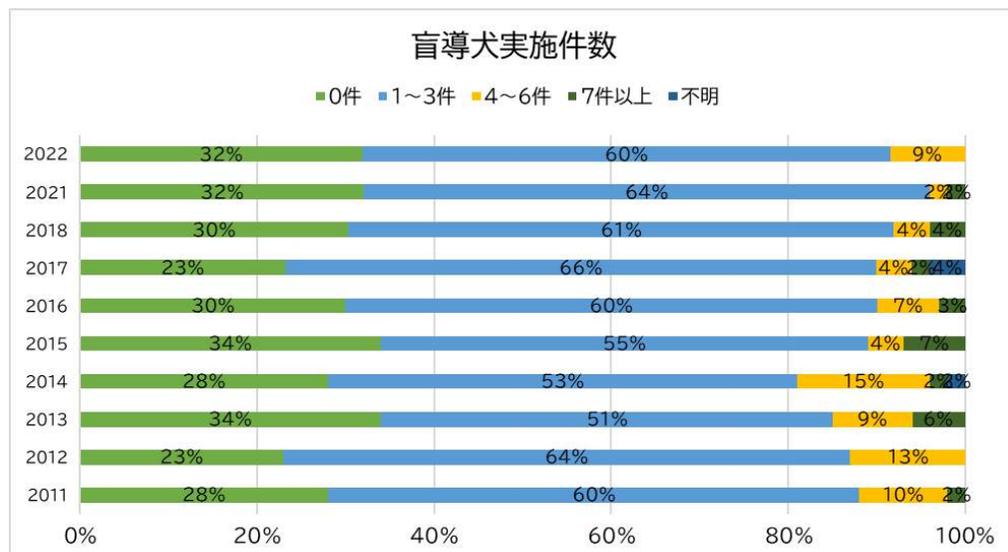


図4 2023年度の補助犬育成事業の実施予定

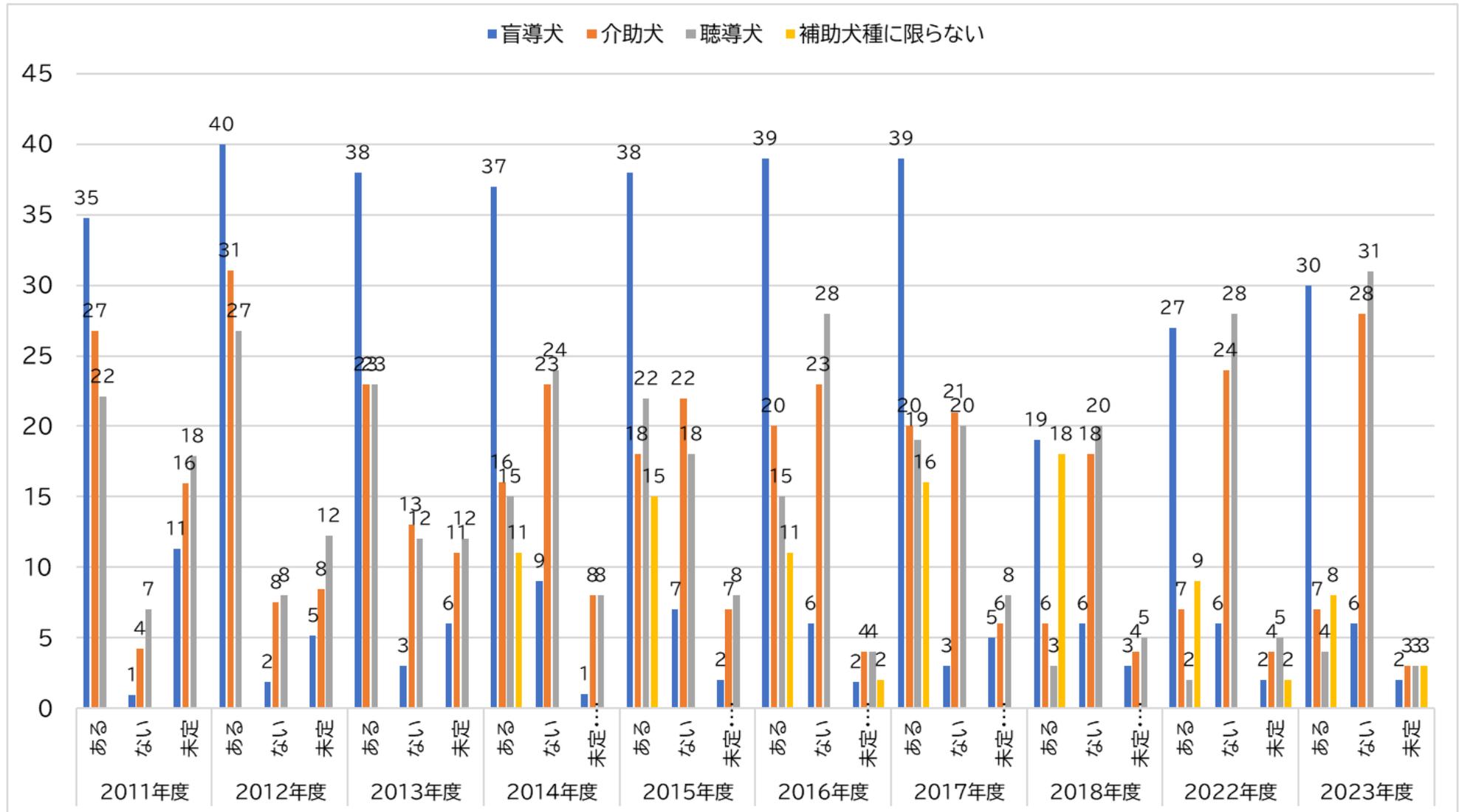


表1 第二種社会福祉事業としての補助犬訓練事業届出状況

	盲導犬		介助犬		聴導犬	
	事業者名	届出日	事業者名	届出日	事業者名	届出日
北海道	(公財)北海道盲導犬協会	H13.4.1				
青森						
岩手						
宮城	(公財)日本盲導犬協会仙台訓練センター	H21.7.17				
秋田						
山形						
福島						
茨城	(一財)全国盲導犬協会	不明				
栃木	(公財)東日本盲導犬協会	H5.5.12				
群馬						
埼玉					(公社)日本聴導犬推進協会	H27.5.29
千葉			(社福)千葉県身体障害者福祉事業団	H17.4.15	館山総合訓練センター	
			千葉介助犬協会 館山総合訓練センター			
東京	(公財)アイメイト協会				(社福)日本聴導犬協会 東京支部	不明
神奈川	(公財)日本盲導犬神奈川訓練センター		横浜市総合リハビリテーションセンター	H15.5.6	神奈川介助犬聴導犬協会	H15.4.1
	(公財)日本補助犬協会横浜訓練センター		(公財)日本補助犬協会	H15.8.4	(特非)聴導犬育成の会	H15.4.2
	横浜市総合リハビリテーションセンター		(社福)日本介助犬協会	H15.8.25	横浜市総合リハビリテーションセンター	H15.5.6
			(社福)アジアフォーキングドッグサポート協会	H15.9.29	(社福)アジアフォーキングドッグサポート協会	H15.9.29
			神奈川介助犬聴導犬協会	H16.4.1	(公財)日本補助犬協会	H16.1.28
新潟						
富山						
石川						
福井						
山梨						
長野			(社福)日本聴導犬協会	H15.9.8	(社福)日本聴導犬協会	H15.9.8
岐阜			(特非)日本動物介護センター	H22.9.16		
静岡	(公財)日本盲導犬協会	H18.10.1				
愛知	(社福)中部盲導犬協会	不明	介助犬総合訓練センター-シンシアの丘	H21.3.26		
			(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	不明	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	不明
三重						
滋賀					滋賀県聴覚障害者福祉協会	H27.3.11
京都	(公財)関西盲導犬協会	S.62.4.28	(特非)京都ケアドッグステーション	H16.1.9	(特非)京都ケアドッグステーション	H16.1.9
			京都介助犬聴導犬トレーニングセンター	H16.10.21	京都介助犬聴導犬トレーニングセンター	H16.10.21
			京都アシスタントドッグ育成協会	H18.9.28		
大阪	(社福)日本ライトハウス	H.13.4.2				
兵庫	(社福)兵庫盲導犬協会	不明	(社福)兵庫県社会福祉事業団	不明	(社福)兵庫県社会福祉事業団	不明
			(社福)兵庫盲導犬協会	不明	(社福)兵庫盲導犬協会	不明
			(特非)兵庫介助犬協会	不明		
奈良			日本サポートドッグ協会	H15.11.21	日本サポートドッグ協会	H15.11.21
			(特非)近畿介助犬協会	不明		
和歌山						
鳥取						
島根	(公財)日本盲導犬協会島根あさひ訓練センター	H20.10.1				
岡山						
広島						
山口			ドッグスクールSue	H30.1.31		
徳島					(特非)ボランティアドッグ育成センター	H16.4.1
香川						
愛媛			ドッグフォーライフジャパン	H24.10.1	ドッグフォーライフジャパン	H24.10.1
高知						
福岡	(公財)九州盲導犬協会	H21.10.30	(特非)九州補助犬協会	H18.9.22	(特非)九州補助犬協会	H18.9.22
佐賀						
長崎						
熊本						
大分						
宮崎						
鹿児島						
沖縄						

表2 2022年度 補助犬育成事業実施件数・助成額(都道府県別)

	盲導犬			介助犬			聴導犬		
	実施有無	件数	助成額	実施有無	件数	助成額	実施有無	件数	助成額
北海道	○	5	1,800,000	○	1	1,800,000	×		
青森県	×			×			×		
岩手県									
宮城県	○	3	-	×			×		
秋田県	○	1	1,890,000	×			×		
山形県	○	1	1,830,000	回答無			回答無		
福島県	○	1	1,500,000	×			×		
茨城県	○	2	2,022,000	○	1	2,022,000	×		
栃木県	○	1	1,600,000	×			×		
群馬県	×			×			×		
埼玉県	○	4	1,984,500	回答無			回答無		
千葉県	○	2	1,984,500	○	1	1,984,500	×		
東京都									
神奈川県	○	2	1,910,800	○	1	1,650,000	×		
新潟県	○	2	1,890,000	×			○	1	1,890,000
富山県	×			×			×		
石川県	○	1	1,890,000	×			×		
福井県	×			×			×		
山梨県	○	2	1,500,000	×			×		
長野県	○	1	1,980,000	×			×		
岐阜県	×			×			×		
静岡県	○	5	1,984,500	×			×		
愛知県	○	4	1,500,000	○	1	1,500,000	×		
三重県	○	1	1,500,000	回答無			回答無		
滋賀県	×			×			×		
京都府	○	2	1,500,000	×			×		
大阪府	○	3	1,672,000	○	1	1,672,000	×		
兵庫県	○	1	1,890,000	○	1	1,890,000	×		
奈良県	○	2	1,890,000	○	1	1,500,000	×		
和歌山県	×			×			×		
鳥取県	○	1	0	回答無			回答無		
島根県	○	1	1,980,000	×			×		
岡山県	×			×			×		
広島県	○	1	1,944,000	○	-	-	×		
山口県	○	1	1,500,000	×			×		
徳島県									
香川県	○	1	1,980,000	×			×		
愛媛県	×			×			○	1	1,980,000
高知県									
福岡県	○	2	1,500,000	×			×		
佐賀県	○	1	1,500,000	×			×		
長崎県	○	1	1,200,000	×			×		
熊本県	×			×			×		
大分県	○	1	1,890,000	×			×		
宮崎県	×			×			×		
鹿児島県	○	2	1,890,000	×			×		
沖縄県	○	1	2,038,000	回答無			回答無		
実施合計		32県/59件			9県/9件以上			2県/2件	

表3 2023年度 補助犬育成補助事業 実施予定件数・助成額(都道府県別)

	補助犬種類に限らず		盲導犬		介助犬		聴導犬	
	予定有無	助成額	予定有無	助成額	予定有無	助成額	予定有無	助成額
北海道	○	1,800,000						
青森県			○	2,038,000	×	-	×	-
岩手県								
宮城県			○	未定	×	-	×	-
秋田県			○	1,890,000	○	1,890,000	×	-
山形県			○	1,830,000	×	-	×	-
福島県			○	1,500,000	×	-	×	-
茨城県			○	2,022,000	△	未定	○	2,022,000
栃木県	○	1,600,000						
群馬県	△	未定	△	未定	△	未定	△	未定
埼玉県			○	1,984,500	×	-	×	-
千葉県	○	1,984,500						
東京都								
神奈川県	△	未定	○	1,910,800	○	1,650,000	○	1,470,000
新潟県			○	1,800,000	×	-	○	1,800,000
富山県			△	600,000	×	-	×	-
石川県			○	1,890,000	×	-	×	-
福井県			×	-	×	-	×	-
山梨県			○	1,500,000	×	-	×	-
長野県	○	1,980,000	○	1,980,000	×	-	×	-
岐阜県			○	3,000,000	×	-	×	-
静岡県			○	1,984,500	○	1,984,500	×	-
愛知県			○	1,500,000	○	1,500,000	△	1,500,000
三重県			○	1,500,000	×	-	×	-
滋賀県			○	1,500,000	×	-	○	1,500,000
京都府	△	1,500,000	○	1,500,000	△	1,500,000	△	1,500,000
大阪府	○	1,661,000	○	1,661,000	○	1,661,000	×	-
兵庫県			○	1,890,000	×	-	×	-
奈良県			×	1,890,000	×	1,500,000	×	1,500,000
和歌山県			×	-	×	-	×	-
鳥取県			×	-	×	-	×	-
島根県			○	1,980,000	×	-	×	-
岡山県			○	1,980,000	×	-	×	-
広島県			○	1,944,000	×	-	×	-
山口県	○	1,500,000						
徳島県								
香川県			○	1,980,000	×	-	×	-
愛媛県			○	1,980,000	×	-	×	-
高知県								
福岡県			○	1,500,000	○	1,500,000	×	-
佐賀県			×	-	×	-	×	-
長崎県			○	1,200,000	×	-	×	-
熊本県	○	1,200,000						
大分県			○	1,890,000	○	1,890,000	×	-
宮崎県			○	2,045,000	×	-	×	-
鹿児島県	○	1,890,000	○	1,890,000	×	-	×	-
沖縄県			×		×	-	×	-

表4 2022年度 都道府県における補助犬育成補助事業の助成金交付先について

	盲導犬		介助犬		聴導犬	
	指定事業者	委託団体	指定事業者	委託団体	指定事業者	委託団体
北海道						
青森						
岩手						
宮城						
秋田						
山形		希望者の補助犬給付の経歴や訓練所の所在地等を考慮し、できる限り希望に沿う形で選定		希望者の補助犬給付の経歴や訓練所の所在地等を考慮し、できる限り希望に沿う形で選定		希望者の補助犬給付の経歴や訓練所の所在地等を考慮し、できる限り希望に沿う形で選定
福島						
茨城						
栃木						
群馬						
埼玉						
千葉						
東京						
神奈川						
新潟						
富山		社会福祉法人富山県視覚障害者協会				
石川						
福井						
山梨						
長野						
岐阜						
静岡						
愛知						
三重						
滋賀						
京都		指定訓練事業者		指定訓練事業者		指定訓練事業者
大阪						
兵庫						
奈良						
和歌山						
鳥取		日本ライトハウス				
島根		社会福祉法人島根ライトハウス				
岡山		岡山県身体障害者福祉連合会		岡山県身体障害者福祉連合会		岡山県身体障害者福祉連合会
広島		委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会		委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会		委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会
山口						
徳島						
香川		申請があった際に指定するため、現時点では未定		申請があった際に指定するため、現時点では未定		申請があった際に指定するため、現時点では未定
愛媛						
高知		高知県身体障害者連合会		高知県身体障害者連合会		高知県身体障害者連合会
福岡						
佐賀						
長崎						
熊本						
大分		大分県盲導犬協会		九州補助犬協会		九州補助犬協会
宮崎						
鹿児島						
沖縄						

表5 2022年度 助成候補者の決定にかかわる調査と評価について

	調査実施	都道府県 主体	委託している事業者名	件数	費用	補助金 利用	評価委託	都道府県 主体	事業者名	件数	費用	補助金 利用
北海道	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
青森	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
岩手			-	-	-	-			-	-	-	-
宮城	(*1)	-	-	-	-	-	(*1)	-	-	-	-	-
秋田	○	○	-	-	-	-	○	-	県が委託した訓練事業者	1	0	×
山形	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
福島	○	○	-	-	-	-	○	-	公益財団法人日本盲導犬協会	1	0	○
茨城	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
栃木	○	○	-	-	-	-	○	-	希望者が選んだ訓練事業者に委託	1	0	×
群馬	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
埼玉	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
千葉	○	○	-	-	-	-	○	-	-	3	150,000	○
東京			-	-	-	-			-	-	-	-
神奈川	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
新潟	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
富山	○	-	社会福祉法人富山県視覚障害者協会	0	-	-	×	-	-	-	-	-
石川	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
福井	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
山梨	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
長野	○	○	-	-	-	-	○	-	希望者が選んだ訓練事業者	1	1,980,000	○
岐阜	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
静岡	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
愛知	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
三重	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
滋賀	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
京都	○	-	貸与を行う犬の育成及び 訓練を行う事業者	2	3,000,000	○	○	-	貸与を行う犬の育成及び 訓練を行う事業者	2	3,000,000	○
大阪	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
兵庫	○	○	-	-	-	-	○	-	-	2	0	-
奈良	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
和歌山	○	○	-	-	-	-	○	-	申請者が希望する訓練事業者	0	0	-
鳥取	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
島根	○	-	社会福祉法人島根ライトハウス	0	0	-	×	-	社会福祉法人島根ライトハウス	0	0	-
岡山	○	-	公益財団法人 岡山県身体障害者福祉 連合会(委託先)	0	0	-	○	-	公益財団法人 岡山県身体障害者福祉 連合会(委託先)	0	0	-
広島	○	-	委託:社会参加推進センター 再委託:広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会	1	2,613,070円 に含む	○	○	-	委託:社会参加推進センター 再委託:広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会	1	2,613,070円 に含む	○
山口	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
徳島			-	-	-	-			-	-	-	-
香川	×	○	-	-	-	-	○	-	申請があった際に指定するため、 現時点では未定	1	0	×
愛媛	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
高知			-	-	-	-			-	-	-	-
福岡	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
佐賀	○	○	-	-	-	-	○	-	社会福祉法人日本ライトハウス	1	1,500,000	○
長崎	○	○	(公財)九州盲導犬協会	0	-	-	×	-	(公財)九州盲導犬協会	0	0	×
熊本	○	(*2)	-	-	-	-	○	(*3)	-	-	-	-
大分	×	-	大分盲導犬協会、九州補助犬協会	0	-	×	×	-	大分盲導犬協会、九州補助犬協会	0	0	×
宮崎	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
鹿児島	○	○	-	-	-	-	○	○	希望者が選んだ訓練事業者	2	0	-
沖縄	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-

2022 年度 補助犬の同伴受入れ状況等に対する実態調査結果

【調査票送付:政令市・中核市 80 市町村;回答総数:58 市町村】

(*千葉市は千葉県に、補助犬事業を統合したため回答はなし)

基本データ

1.第二種社会福祉事業届出の増減

①2022 年度中の新規届出について

2022 年度中の新規届出なし

②2022 年度中の届出取り消しについて

2022 年度中の取り消し手続きなし

育成促進事業

2.政令市・中核市内における補助犬使用者数(2023 年 3 月 31 日現在)

【政令市】

	いる	いない	不明	回答無
盲導犬	60%(9)	0%(0)	40%(6)	0%(0)
介助犬	33%(5)	13%(2)	47%(7)	7%(1)
聴導犬	13%(2)	40%(6)	40%(1)	7%(1)

【中核市】

	いる	いない	不明
盲導犬	67%(29)	5%(2)	28%(12)
介助犬	21%(9)	28%(12)	51%(22)
聴導犬	2%(1)	42%(18)	56%(24)

3.2022 年度中の補助犬の希望者について

【政令市】

	希望あり	希望なし	不明	回答無	合計
盲導犬	33%(5)	47%(7)	7%(1)	13%(2)	15 市
介助犬	7%(1)	67%(10)	7%(1)	20%(3)	15 市
聴導犬	7%(1)	67%(10)	7%(1)	20%(3)	15 市

【中核市】

	希望あり	希望なし	不明	合計
盲導犬	19%(8)	79%(34)	2%(1)	43 市
介助犬	5%(2)	93%(40)	2%(1)	43 市
聴導犬	2%(1)	95%(41)	2%(1)	43 市

理解促進・普及啓発

4.補助犬法や補助犬に関する取り組み(助成施策、理解促進・啓発、身体障害者補助犬育成計画の作成等)の実施や実施予定について。また、その取り組みに関する具体的な内容や、おおよその費用、「身体障害者補助犬育成促進事業」(地域生活支援事業)の補助金利用に関する都道府県との連携について。

【助成施策】

○政令市

2022年度:助成施策の実施	
実施あり	53%(8)
実施なし	47%(7)

2023年度:助成施策の実施予定	
実施予定あり	53%(8)
実施予定なし	47%(7)

○中核市

2022年度:助成施策の実施	
実施あり	26%(11)
実施なし	74%(32)

2023年度:助成施策の実施予定	
実施予定あり	28%(12)
実施予定なし	72%(31)

■補助犬の健康管理費(予防接種、医療費など)

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
横浜市	○	○	身体障害者補助犬定期検診等助成事業(補助犬の定期検診、疾病にかかる診療費を助成)	医療費の増による、事業の持続性について	4,000,000	×
新潟市	○	○	登録手数料、狂犬病予防注射済票交付手数料、鑑札の再交付手数料、狂犬病予防注射済票再交付手数料	-	6,600	×
名古屋市	○	○	身体障害者手帳1級から3級の方で、日常生活補助のために使用する補助犬及び盲導犬として育成している犬に係る次の手数料の免除 登録申請手数料(3,000円)、狂犬病予防注射済票	-	0	×

			交付手数料(550円)、鑑札の再交付手数料(1,600円)及び狂犬病予防注射済票交付手数料(340円)			
神戸市	○	○	補助犬の健康管理を図るために必要な健康診断、予防接種、治療等に充てる経費を補助(所得制限あり) ※月額 3,600円～7,000円	-	537,600	×
広島市	○	○	低所得のため補助犬の養育に要する費用の負担が困難な者に対して、健康管理費としてその一部を支給する。	なし	5000円/月	×
いわき市	○	○	予防接種費用の助成(実施主体:福島県獣医師会)	補助犬の餌代等、飼育にかかる費用助成をして欲しいとの希望が聞かれた。	接種費用実費	○
豊橋市	○	○	狂犬病予防接種済証手数料減免実施	2022年度まで接種済票の交付場所は保健所のみであったが、補助犬使用者の意見を受け、2023年度からは動物病院でも接種済票を交付出来るように連携を図った。	550	×
尼崎市	○	○	狂犬病予防法に基づく予防注射済票交付手数料の減免(R5年度は、8頭@550円)	特になし	4,400	×
呉市	×	○	市内居住する、補助犬を使用し、かつ養育する者を対象に、補助犬の健康管理に要する費用の一部を給付する。	-	住民税課税世帯 5,000円/月、 非課税世帯 4,000円/月	×

■飼育のための必要経費(餌など)

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
仙台市	○	○	飼料代を年間 42,000 円まで補助。	-	343,431	×
名古屋市	○	○	身体障害者補助犬飼育費補助事業(4,900 円/月)	-	823,200	×
岡山市	○	○	補助犬飼育費の助成	特になし	936,000	×
宇都宮市	○	○	導入の次年度から5年間	-	年2万円 (×5年)	○
長野市	○	○	補助犬の飼育費(月額 3,000 円)	-	108,000	×
倉敷市	○	○	在宅で、身体障害者手帳を所持し①～③のいずれかに該当する方、 ①視覚障害の程度が1級で、盲導犬を現に使用し、飼育している方 ②肢体不自由の程度が1～2級で、介助犬を現に使用し、飼育している方 ③聴覚障害の程度が2級で、聴導犬を現に使用し、飼育している方	-	6000 円/月	-
下関市	○	○	1名につき、月額 5,000 円を3か月おきに3か月分(計 15,000 円)支給。	なし	計4名分年間 240,000 円	×

■その他

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
相模原市	○	○	手数料の免除・犬の登録・犬の狂犬病予防注射済票の交付	-	2022 年度 該当なし	×
神戸市	○	○	犬の登録手数料(3,000 円)の免除、狂犬病予防注射済票交付手数料(550 円)の減免	-	-	×
船橋市	○	○	犬の登録、犬鑑札の再交付、狂犬病予防注射済票の交付、狂犬病予防注射済票の再交付に係る手数料の免除	特になし	-	×

富山市	○	○	狂犬病予防接種済票交付手数料(550円)及び犬の登録手数料(3,000円)の免除	-	-	○
富山市	○	○	身体障害者補助犬の貸与を受けた者に、貸与に際して発生した自己負担額の一部(2分の1、上限5万円)を補助	-	-	○
長野市	○	×	訓練施設までの往復交通費(本人及び付添人)	-	34,360	×
豊橋市	○	○	犬登録手数料減免実施	特になし。	3,000	×
福山市	○	○	犬の登録手数料, 犬の狂犬病予防注射済票の交付手数料, 犬の鑑札の再交付手数料, 犬の狂犬病予防注射済票の再交付手数料の減免	特になし	なし	×
大分市	○	○	盲導犬の貸与を受けるために、盲導犬訓練センターで、訓練を行う視覚障害者のセンターまでの往復の交通費の助成	-	83,000	×

【理解促進】

○政令市

2022 年度:理解促進事業の実施	
実施あり	0%(0)
実施なし	100%(15)

2023 年度:理解促進事業の実施の予定	
実施あり	7%(1)
実施なし	93%(14)

○中核市

2022 年度:理解促進事業の実施	
実施あり	14%(6)
実施なし	86%(37)

2023 年度:理解促進事業の実施の予定	
実施予定あり	14%(6)
実施予定なし	86%(37)

■市町村担当者向け

市町村	2022 年度	2023 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	・補助犬担当が日本盲導犬協会主催のオンラインセミナー受講・新規採用職員向け研修の差別解消法講座で補助犬について説明	補助犬に関する知識を広げるとともに、受け入れ拒否時の対応や相談に対応できるようになった。新規採用職員が補助犬の基本的な知識を得られている。	-	0	×
豊橋市	○	○	職員向けの障害者差別解消法の研修内で、盲導犬について紹介	市職員の盲導犬に対する理解を深めることが出来た。	特になし。	0	×
呉市	×	○	国立リハビリテーションセンター学院主催の身体障害者補助犬訓練者等研修会【行政担当者向けコース】(オンライン)への参加	-	・未だなくならない同伴拒否などのトラブル ・理解促進のための市民、事業者に対する効果的な周知案内方法	5,300	×

松山市	○	○	職員向けの障害者差別解消法の研修の中で、補助犬についても紹介している。	補助犬ユーザーが窓口へ来られた時の適切な対応につながる。	研修の対象者が全職員ではないため、より幅広く周知することが必要である。	0	×
-----	---	---	-------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------	---	---

■受け入れ事業者向け

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
前橋市	○	○	日本盲導犬協会主催オンラインセミナーのチラシ配布・ウェブでのお知らせ配信	-	参加事業者の把握ができない	0	×

■児童・生徒向け

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
いわき市	×	○	市実施の出前講座にて市内小学生向けに補助犬についての講座を実施して欲しいとの希望があり実施。	補助犬の理解促進を図ることができた。	補助犬のデモンストレーションなどを取り入れ、もっと身近に補助犬の理解をしやすいしたいが、気軽には実施できない。	0	×
前橋市	○	○	前橋社協による福祉教室で補助犬講座	-	-	0	×
呉市	○	×	小学校からの依頼による盲導犬ユーザーと盲導犬が同伴した補助犬についての説明会	児童の補助犬に対する理解促進	市内全域での説明会の実施ができていないこと	0	×

■その他

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
名古屋	×	○	商店街にて補助犬受入れ拒否の事例を踏まえ、商店街に説明会を実施	補助犬に対する理解の向上	大きな商店街であるため、すべての店に理解してもらうことは難しい	0	×
いわき市	○	×	市主催の夏祭りで補助犬の受け入れ拒否をしたことをきっかけに、市職員(管理職向け)に補助犬理解促進セミナーを開催。	身体障害者補助犬法や障害者差別解消法の周知ができ、理解促進ができた。	定期的に機会をもうけなければ、理解促進がすすんでいかない可能性がある。	会場使用料等3万円程度	×
高知市	○	○	○令和5年9月18日 一般市民、児童生徒、障害当事者向けを一括で実施 盲導犬教室:37人参加 視覚障害者向け盲導犬体験歩行:9人参加	(一般市民、児童生徒向け)盲導犬の仕事や、訓練に関する説明及び実際に訓練犬に訓練士が指示を出し犬の動きを見てもらうことで、参加者に盲導犬に対する理解を深めてもらった。 (障害当事者向け)会場周辺を訓練犬や訓練士と一緒に歩き、盲導犬の理解を深めることで、盲導犬ユーザーという選択肢を広げる機会となった。	-	-	-

【啓発事業】

○政令市

2022年度:啓発活動事業の実施	
実施あり	53%(8)
実施なし	47%(7)

2023年度:啓発活動事業の実施予定	
実施あり	73%(11)
実施なし	27%(4)

○中核市

2022年度:啓発活動事業の実施	
実施あり	56%(24)
実施なし	44%(19)

2023年度:啓発活動事業の実施予定	
実施予定あり	53%(23)
実施予定なし	47%(20)

■補助犬啓発用のウェブサイト掲載

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
函館市	○	○	ほじょ犬について理解を求めるホームページを、市ウェブサイトに掲載	市民への周知啓発	なし	0	×
いわき市	○	○	市公式ホームページへの掲載	周知啓発の促進	今のところ課題と考えていることや、対象者から寄せられた課題等はなく、引き続き同様の取り組みを実施し、周知啓発を図る。	0	×
前橋市	○	○	・市フェイスブックで補助犬への理解促進記事掲載・前橋社協主催の小学校向け講座を市ユーチューブで配信・市ホームページに補助犬のページを開設	-	-	0	×
富山市	○	○	身体障害者補助犬法施行に伴い、身体障害者補助犬に関する内容を市HPに掲載している。	身体障害者補助犬の理解・啓発	-	0	×

八尾市	○	○	本市のホームページに補助犬啓発に関する情報を掲載している。	不明	啓発効果の検証が困難である。	0	×
尼崎市	○	○	本市のホームページにて「身体障害者補助犬について」ページを開設し紹介。	市民等への周知啓発を行うことができた。	特になし	0	×
和歌山市	○	×	和歌山市のホームページに掲載	不明	県へ進達事務のみのため不明	0	×
呉市	○	×	市内公共施設を管理する市役所各部署にホームページの見直し依頼	補助犬を同伴しての入館入湯が可能である旨の記載追加	-	0	×
松山市	○	○	身体障害者補助犬法の施行に伴い、市のホームページでも補助犬の説明やステッカーの配布について紹介している。	民間事業所等でも補助犬の受け入れが義務化されている点について、一定の周知ができています。	さらに周知の機会を増やし、市民の方へ補助犬の受け入れについて理解を進めていくことが重要である。	0	×

■厚生労働省リーフレット等の配布

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
札幌	×	○	利用者から市内飲食店の入店を拒否されたとの相談を受け、当該店舗に対し、補助犬制度の概要説明及びリーフレットを配布した。	当該店舗だけでなく、系列店舗で補助犬制度及びリーフレットを共有いただけるとの回答を得ている	補助犬制度の概要を知らなかったことに伴う、入店拒否のようであったため、制度周知が課題。	0	×
相模原	○	○	食品衛生責任者実務講習会で、補助犬リーフレットを配布	不明	特になし	なし	×
名古屋	×	○	商店街にて補助犬受入れ拒否の事例を踏まえ、商店街にリーフレットとシールを配布	補助犬に対する理解の向上	大きな商店街であるため、すべての店に理解してもらうことは難しい	0	○

大阪	○	○	障がい福祉課にてリーフレット等を配架している。また、今後、区役所へリーフレットを送付し、配架を依頼する予定。	-	-	-	×
広島	○	○	希望のあった企業や医療機関、団体に対しステッカーやリーフレットの配付。	-	-	-	×
熊本	○	○	補助犬同伴ステッカー及びリーフレットの窓口設置	市民の目に触れる機会を作り、理解啓発に繋げた。	民間におけるリーフレット設置場所の検討	0	×
青森市	○	○	課窓口にて補助犬同伴ステッカー、パンフレットの配布	周知が図られた。	今後も周知活動が必要と考える。	0	×
盛岡市	○	○	-	-	-	-	-
いわき市	○	○	本庁舎の玄関前にリーフレット(貴団体からいただいているクイズブックも活用)を設置している。	定期的に冊子数を確認しているが、毎月一定数減となっているため、興味のある市民が増えているものとする。	今のところ課題と考えていることや、対象者から寄せられた課題等はなく、引き続き同様の取組みを実施し、周知啓発を図る。	0	×
前橋市	○	○	障害福祉課窓口等での配布や他部署と連携し事業者や医療機関等へ配布	事業者等へ補助犬の周知につながった育成団体のチラシを置くことで、障害当事者への周知につながった	-	0	×
船橋市	○	○	障害福祉課が主催する研修会やイベントにて補助犬ステッカーやリーフレット等を配布した。	補助犬の役割や接し方についての普及啓発	特になし	0	×
横須賀市	○	○	希望施設等へ補助犬同伴ステッカー、パンフレットの配布	補助犬への理解を深める手助けとなった	-	0	×
豊橋市	○	○	補助犬リーフレット、盲導犬協会の冊子等を障害福祉課窓口で配布	市民に対して、補助犬に係る情報を周知した。	特になし。	0	×

八尾市	○	○	補助犬に関するリーフレット等を配架している。	不明	啓発効果の検証が困難である。	0	×
松江市	○	○	・窓口での配布・歯科医師会会員への厚生労働省リーフレット配布	補助犬についての理解促進	-	0	×
倉敷市	○	○	厚生労働省リーフレットを障がい福祉課の窓口配置	-	-	0	-
呉市	○	×	市内公共施設へのほじょ犬ステッカー及びリーフレットの配布	施設入口へのほじょ犬ステッカー貼付	-	0	×

■広報誌への記事掲載

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
さいたま	○	○	市の広報誌に補助犬についての記事を掲載	-	-	-	×
新潟	○	○	障がい者週間に合わせて、補助犬の受け入れについて市報に記事を掲載	-	-	-	×
いわき市	○	○	広報紙への掲載	広報紙掲載後、補助犬に関する問い合わせは増加した。	今のところ課題と考えていることや、対象者から寄せられた課題等はなく、引き続き同様の取り組みを実施し、周知啓発を図る。	0	×
前橋市	○	○	市広報誌「広報まえばし」への記事掲載	-	-	0	×
船橋市	○	○	補助犬の日に合わせて、市広報や市商工会議所の発刊誌にて啓発記事を掲載した。	補助犬の役割や接し方についての普及啓発	周知できていない層が存在する。	0	×

富山市	○	○	「ほじょ犬マーク」について年1回、広報にて周知している。	「ほじょ犬マーク」の理解・啓発	-	0	×
長野市	○	○	「長野市障害福祉サービスガイド」にほじょ犬マークを掲載	-	-	1,093,400	×
八尾市	○	○	大阪府の補助犬使用者募集の記事を掲載している。	不明	啓発効果の検証が困難である。	0	×
尼崎市	○	○	県の補助犬貸付事業が、市を通して申請することとなっているため、市の広報にも掲載し、呼びかけ。	市民等への周知啓発を行うことができた。	特になし	-	×
尼崎市	○	○	補助犬同伴ステッカーや啓発リーフレットの配布。ポスターやステッカーの市庁舎(出先含む)や関連機関での掲示など。	市民等への周知啓発を行うことができた。	特になし	-	×
奈良市	○	○	盲導犬受け入れ拒否の相談があった。	市民に対する補助犬に関する啓発・周知	-	0	×
福山市	○	○	広報誌へ盲導犬給付事業についての記事を掲載	盲導犬の給付申請あり 2頭	特になし	特になし	×
鹿児島市	○	○	補助犬に対しての理解促進のために市の広報誌に啓発記事を掲載。	市民の人たちに、補助犬への理解が広がると考えている。	周知できる層に限りがある。	0	×

■その他

市町村	2022年度	2023年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
横浜	○	○	補助犬普及啓発イベントの開催、障害者週間イベントでの補助犬理解啓発コンテンツの実施	一般市民への理解促進及び周知	周知する対象の拡大	259,000	○
大阪	○	○	障がい者週間の期間中、補助犬に関するパネル展示を行っている。	-	-	-	×
堺	×	○	条例啓発イベントとして実施(障害者週間のイベント内で実施)	・補助犬の知名度がアップした。・補助犬が想像以上に能力が高いと周知できた。	・特になし(問い合わせがあった際は、関係団体を紹介している)。	指定管理料内で実施	×
神戸	○	○	それぞれの障害特性を理解し、障害のある方の手助けができる市民を養成する講座(障がいサポーター養成講座)の開催(補助犬に係る内容を含む)	市民への補助犬の周知・啓発	-	2,745,620	○
神戸	○	○	区役所窓口における厚生労働省作成の補助犬ステッカー、補助犬リーフレットの配布	市民への補助犬の周知・啓発	-	0	-
神戸	○	○	障害や障害のある人に対する市民の理解を促進するため、障害があることによる生きづらさについての講演会や、イベントへのブース出展を行う際に、補助犬に係る市作成のパネル展示や、クリアファイルの配布を行った	市民への補助犬の周知・啓発	-	22,923	○
神戸	○	○	視覚障害者に対する理解と盲導犬に対する知識を促進するため、神戸市内の小中学校にて出張講座を開催。視	市民への補助犬の周知・啓発	-	1,720,000	○

			覚障害者に対するコミュニケーションの取り方やPR犬による盲導犬デモンストレーションなどを行う。				
いわき市	○	○	本庁舎玄関前のモニターにて、補助犬理解促進の動画を流している	開庁時は特別なイベント等でモニターを利用しない限り、動画を流し続けており、市民の目に触れる機会が増えた。(同じブースにリーフレット等を設置している)	今のところ課題と考えていることや、対象者から寄せられた課題等はなく、引き続き同様の取組みを実施し、周知啓発を図る。	0	×
前橋市	×	○	・障害福祉啓発イベント「みんなのフェスタ」での盲導犬体験コーナー・まえばしCITYエフエムで「身体障害者補助犬を知ろう」というテーマで放送	一般市民や障害当事者、他障害者にも実際に体験することで理解が深まる	障害当事者へのイベント周知が難しい	0	×
船橋市	○	×	障害者週間に合わせたイベントで、会場に補助犬を呼び、市民の方に補助犬を知ってもらう。	補助犬の役割や接し方についての普及啓発	特になし	50,000	×
金沢市	○	○	学校等で講演する補助犬ユーザーに配布用のリーフレットを配布している	補助犬に対する理解が深まり、ユーザーの社会参加を促進する	-	0	×
長野市	○	○	窓口ポスター掲示	-	-	0	×
豊中市	○	○	豊中市障害者啓発活動委員会と共に補助犬啓発のイベントを千里中央で実施した。屋外での開催とし、授産製品の販売等も行いました。	買物ついでの方など、一般の方に広く周知をすることができた。	自治体も人がおらず、物理的に対応する時間が取れなくなってきている。大学や民間事業者などいろいろな方を巻き込んでいく必要があると考えている。	4,810	×

松江市	○	○	・市民向け出前講座での紹介	補助犬についての理解促進	-	0	×
呉市	×	○	市広報テレビ番組で、入店拒否などの差別、障害者補助犬法、盲導犬を連れた視覚障害者の信号機横断する際の支援方法を伝える内容の放送	-	放送時間が短い(内容が伝わる放送になるかどうか)	0	×
下関市	○	○	医療機関へ補助犬同伴ステッカー(県が管理)の配布や庁内への設置を行っている。	補助犬利用者が医療機関や飲食店など、日常生活の中で更に快適に過ごせる。	医療機関や飲食店へ周知を行っているが、未だに理解できていない又は周知が届いていない部分がある。	なし	×
大分市	○	○	九州盲導犬協会の依頼に基づき道の駅のつはるに募金箱を設置した。	-	-	0	×
鹿児島市	○	○	補助犬に対する理解促進のために、ポスターの掲示や「補助犬ユーザー受け入れガイドブック」の周知、「ほじょ犬ステッカー」の貼付依頼を行った。	市民はもちろんのこと、職員にも周知を行うことにより、より理解が広がると考えている。	周知できる層に限りがある。	0	×

【ニーズならびに供給体制の把握事業】

○政令市

2022年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施	
実施あり	7%(1)
実施なし	93%(14)

2023年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施予定	
実施予定あり	7%(1)
実施予定なし	93%(14)

○中核市

2022年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施	
実施あり	5%(2)
実施なし	95%(41)

2023年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施予定	
実施予定あり	5%(2)
実施予定なし	95%(41)

■障害者団体に対して調査

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
いわき市	○	○	毎年度、市内補助犬貸与者の確認を実施。 (県より一覧が送付されてくる)	はじめて補助犬を使用したいと考える対象者へは情報が届きづらい。	0	×
前橋市	○	○	群馬県と情報共有	貸与に関する周知が十分でない	0	×

■訓練事業者に対して調査

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
前橋市	○	○	・訓練事業者発行の冊子にて育成数等把握	貸与に関する周知が十分でない	0	×

■その他

市町村	2022 年度	2023 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
名古屋	○	○	名古屋市総合リハビリテーションセンターに介助犬、聴導犬の使用を希望する方を対象とした相談窓口を設置している。(認定相談事業)	-	516,000	×

【連携体制の取り組み】

○政令市

2022年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	0%(0)
実施なし	100%(15)

2023年度:連携体制の取り組み実施予定	
実施予定あり	0%(0)
実施予定なし	100%(15)

○中核市

2022年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	9%(4)
実施なし	91%(39)

2023年度:連携体制の取り組み実施予定	
実施予定あり	7%(3)
実施予定なし	93%(40)

■基幹相談支援センター

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
いわき市	○	○	市内全域の障がい者福祉に関する相談を受けており、補助犬関連での相談等があった場合は、市担当者へ情報提供をする体制構築はできている。	福祉関連事業を実施している機関であっても補助犬への理解が十分ではないところがある。	0	×
前橋市	○	○	補助犬に関する苦情・相談等について情報共有	-	0	×

■相談支援事業者

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
前橋市	○	○	補助犬の貸与等について説明するとともに、訓練事業者作成の冊子を配布	-	0	×

■障害者団体

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
豊橋市	○	×	日本盲導犬協会の市長表敬	特になし。	0	×

■その他

市町村	2022年度	2023年度	内容	課題	費用	補助金利用
福島市	○	○	県補助制度を利用している盲導犬利用者への連絡および情報提供の依頼	特になし	0	×
前橋市	○	○	・貸与や受け入れ拒否に関する相談・情報共有	-	0	×

相談・問い合わせ

5. 補助犬に関する相談内容の記録、保管について

○政令市

記録・保管している	記録・保管していない
93%(14)	7%(1)

○中核市

記録・保管している	記録・保管していない
60%(26)	40%(17)

6. 2022年度の補助犬に関する相談・苦情について

○政令市

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答無
盲導犬	47%(7)	53%(8)	0%(0)
介助犬	20%(3)	73%(11)	7%(1)
聴導犬	27%(4)	67%(10)	7%(1)

○中核市

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答無
盲導犬	35%(15)	58%(25)	7%(3)
介助犬	2%(1)	91%(39)	7%(3)
聴導犬	0%(0)	93%(40)	7%(3)

*旭川市、船橋市、久留米市については、相談内容を「記録・保管していない」ため、この項目についての回答はなし。ただし、「記録・保管していない」と回答した自治体でも、この設問に回答している場合は、その通り計上した。

7-1. 補助犬に関する問い合わせの項目と相談者について(政令市・中核市合計)

1) 盲導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般 市民	その他	計
訓練事業者関連	1	3	0	0	0	1	0	5
資料請求	0	0	0	0	0	0	0	0
その他問い合わせ	29	15	0	0	0	3	11	58
同伴拒否関連	26	0	1	1	3	3	2	36
その他苦情	3	0	0	0	0	5	1	9

2) 介助犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般 市民	その他	計
訓練事業者関連	2	1	1	0	0	0	0	4
資料請求	0	0	1	0	0	0	0	1
その他問合わせ	0	0	0	2	1	0	8	11
同伴拒否関連	0	0	0	0	0	0	0	0
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

3) 聴導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般 市民	その他	計
訓練事業者関連	0	0	0	0	0	0	1	1
資料請求	0	0	0	0	0	0	0	0
その他問合わせ	0	0	0	0	0	0	6	6
同伴拒否関連	0	0	0	0	0	0	1	1
その他苦情	0	0	0	0	0	1	0	1

7-2.相談の具体的な内容

1)盲導犬

■訓練事業者に関する紹介や相談

相談者	内容	対応
希望者	盲導犬の利用希望	地域の使用者団体を紹介
	補助犬を利用したい。	補助犬を導入しようとしたが、先方から取り下げたため、具体的対応はなし。
	視覚障がい者より補助犬貸与についての相談	県の貸与事業について説明し、申請を補助(2022 年度中に盲導犬貸与となった)

■その他の問い合わせ

相談者	内容	対応
使用者	飼料給付の補助金額を上げてほしい。	一部を補助する制度であるため、金額をあげることは考えていない。
	市の補助犬担当者との連絡手段について問い合わせがあり、何かあった時に相談できる連絡先を教えてください。	市の補助犬担当者の個人アドレス(市の PC)で連絡させていただいた。
	ユーザー自宅付近で市発注の道路工事があり、ユーザーが盲導犬同伴で歩行していたところ、当該工事用トラックを避けようと道路端(柵無し)に寄りすぎてしまい、盲導犬が水路に落ちかけた。	ユーザー、市の道路整備担当課、障害福祉課の三者で対策を協議。以前、工事会社(元請)には付近に盲導犬ユーザーが住んでいることを通知していたが、下請業者まで周知されていなかった。そのため、関係業者に対し、盲導犬ユーザーの安全に配慮し、声かけや誘導案内するよう周知徹底するよう申し合わせた。
	盲導犬同伴でタクシーを利用し、降車場所として自宅至近のバス停名を運転手に伝えた。しかし、降車時に運転手に確認したにもかかわらず、一つ隣のバス停で降車させられていた。今後、ユーザー側での防止策について相談。	運転手の勘違いを防ぐことは難しく、運転手に何度も確認したり、このエピソードを車内でさりげなく話しながら、注意喚起してはどうかと助言。
希望者	盲導犬の貸付相談	申請の受付等。

一般市民	盲導犬ユーザーと盲導犬への全般的な正しい接し方についての相談	盲導犬が仕事の際には温かく見守ってもらい、何か対応が必要と思われる時は人側から援助の必要の有無について確認してもらうなどを一通り説明し、理解を促した。
他 其の	医療費助成に関する動物病院からの問い合わせ	制度の趣旨の説明、ご協力をお願いする
	補助犬同伴ステッカーがほしい	希望施設へステッカーとパンフレットを送付した

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

【医療機関、老人保健施設等】

相談者	内容	対応
使用者	健診への受け入れ拒否	盲導犬協会と共有、病院への働きかけ
	盲導犬と共に受診をしようとしたところ、「今まで受け入れたことがないので対応できません」と病院職員から言われたと盲導犬ユーザーより報告と相談あり。	協会職員より、当該病院へ電話し、以後の受け入れについて打診。病院事務局長より「盲導犬受け入れについて勉強しました。今後は受け入れします」との返答あり。盲導犬ユーザーへその旨、報告。
	医療機関にて受け入れを拒否された。	医療機関に説明し、受け入れを要請。
	クリニックに予約電話をした際、「スタッフ人数が少なく個別対応が難しい」と言われ、予約ができなかった。	電話にて、院長に事実確認を行い、身体障害者補助犬法について説明、受け入れについて指導。
	盲導犬同伴で医療機関へ行ったところ、盲導犬を理由に入室を断られた。	医療機関へ確認し、盲導犬を理由に断ったわけではないことが発覚。医療機関として盲導犬受け入れの意思を示していただくことで未然に防げる可能性があるとの助言し、シール付きパンフレットを送付することについて了承を得た為、送付。
医療機関待合室において、他の患者に犬アレルギーを持っている人がいるかもしれないということで、盲導犬の別室待機、または、玄関口においての診察依頼があった。待合所や診察室までは、一緒に入れるようにしてほしい。医療機関・本人・日本盲導犬協会の三者で話し合いをする場を作ってほしい。	本人・地域の使用者の会・医療機関・障がい福祉課で協議。医療機関は、ガイドラインの変更等について検討を行う予定と回答。後日、補助犬と一緒に入れる範囲を拡大できるよう調整を行っている旨を伝えたところ、納得された様子だった。	

<p>養護盲老人ホームでも入居について問い合わせたところ盲導犬は受け入れできないと言われた。</p>	<p>県でも相談済み。施設でもあり必要な場合、県と協議して対応することになると説明。</p>
--	--

【飲食店】

相談者	内容	対応
<p>使用者</p>	<p>飲食店等での入店拒否</p>	<p>店への聞き取りを行い、法の趣旨の説明と受け入れへの理解を求める</p>
	<p>盲導犬と共に飲食店へ向かう旨、予約の電話を入れると、店員より「お断りします」と言われたと盲導犬ユーザーより報告と相談あり。</p>	<p>協会職員より当該店舗の本社へ電話し、以後の受け入れについて打診。「指導不足でした。今後はこのようなことがないよう対応します」との返答あり。盲導犬ユーザーへその旨、報告。</p>
	<p>盲導犬と共に飲食店へ出向くと、店員より「犬は外で待たせておいてください」と言われたと盲導犬ユーザーより報告と相談あり。</p>	<p>協会職員より当該店舗へ電話し、以後の受け入れについて打診。店長より「店員が間違った対応をしました。今後はきちんと受け入れします」との返答あり。盲導犬ユーザーへその旨、報告。</p>
	<p>飲食店にて受け入れを拒否された。</p>	<p>飲食店に説明し、受け入れを要請。</p>
	<p>飲食店の予約をする際に盲導犬がいることで断られた。</p>	<p>予約を断られた店舗に聞き取りをおこない従業員に対する指導の徹底を求め、補助犬パンフレットを送付。</p>
	<p>飲食店にて利用を断られた。盲導犬を店内に連れて入ると、店の人に断られたり、同伴できても「店の外につないでおけばいいのに」等、ほかの客に文句を言われる。病院や葬祭会館等でも同様の扱いを受け、困っている。</p>	<p>盲導犬について一般の方の理解は十分でないかもしれないが、飲食店に盲導犬を同伴しても問題ないことを説明。飲食店には調理場と客席の区画をしなければいけないこと等施設基準のことについて説明。</p>
	<p>飲食店(FC ラーメン店)において、受付の店員から入店拒否された。盲導犬であり、ペットではないことを再三説明したが、拒否された。</p>	<p>障害担当課から、運営会社(本部)にユーザーからの苦情、身体補助犬法等を説明。運営会社から各店舗に対し、理解促進・啓発のための指導・教育を行うよう依頼し、快諾された。</p>
<p>一般市民</p>	<p>飲食店の盲導犬ユーザー受け入れ拒否があり、受け入れ可能な店を教えて欲しい旨の相談があった。</p>	<p>ほじょ犬の受け入れ拒否は禁止されているため、受け入れ可能な飲食店の把握はしていなかった。結局相談者には引き続き自力で探してもらうほかなかった。</p>

【レジャー施設】

相談者	内容	対応
使用者	ユーザーが鑑賞するコンサート会場に補助犬を入れてもらえない。	開場設営企業と話し、会場内の席を確保。

【宿泊施設】

相談者	内容	対応
使用者	ホテル予約の際に、盲導犬を連れてしていると話したら宿泊を断られた。	ホテルへ、差別にあたり、障害者差別解消法に反することとなる旨を説明したところ、宿泊できることになった。

【その他】(公共施設・斎場等)

相談者	内容	対応
使用者	しばらくお休みしていた、盆踊りの会の練習を再開するため会に連絡したら、活動場所である公民館の職員に断られた。練習にはヘルパーさんが同伴し、盲導犬と待機をするので練習参加できるように話をしてほしい。	事実確認をしたところ、公民館側は受け入れに前向きである。公民館側と会側に話の食い違いがあるため、会側とご本人で話し合いをし、公民館職員からの受け入れ助言もあり、練習参加が可能となった。
	公共施設(海浜公園:指定管理施設)において、盲導犬同伴で入園したところ、管理人から「ペット持込禁止」との注意を受けた。盲導犬であることを再三説明し、入園はできたが、その後、別の管理人からも再び入園を拒否された。管理会社に問い合わせたが、即答は得られず大変不愉快な思いであった。	障害担当課から、施設所管課に状況説明及び確認を依頼。 施設所管課から、指定管理者に対し、管理人及び関係者に対し、補助犬(盲導犬)に対する理解・促進等の周知徹底を指導。 「ペット持込禁止」看板に「補助犬は除く」の記載を追記
	盲導犬の受入れ拒否をした市のイベントに関する相談	イベント実施担当課の理解不足について謝罪し、市職員向けに補助犬理解促進セミナーを実施した。
	盲導犬ユーザーから協会へ、市内の葬儀会場にて入店を拒否されたとの相談があった。協会が葬儀会社へ直接電話し、身体障害者補助犬法の説明と現場での適切な対応について依頼した旨、市へ報告があった。	市からも改めて葬儀会社へ電話連絡し、適切な対応について会社で周知徹底していただきたい旨、依頼した。

【その他】(受け入れマニュアルの整備等の相談)

相談者	内容	対応
事業者 受け入れ	受け入れに際して職員向けのマニュアルを整備したいがどこに相談したらよいか	周辺地域の訓練事業者への問い合わせを案内

■その他苦情等

相談者	内容	対応
使用者	市営住宅で盲導犬と暮らしているが、補助犬をペットと勘違いしたり理解していない人も多いので、補助犬法の周知や合理的配慮があったらと思う。	補助犬制度について今後とも積極的に啓発していくことを伝える。また、市所管課と情報共有し、補助犬が入居している市営住宅等(管理組合・住民)へ補助犬制度について周知するよう伝える。
一般市民	暑い中、盲導犬を歩かせていてかわいそう。動画を撮って YouTube にあげようと思ったとの電話連絡が一般の方からあり。	視覚障害者である盲導犬使用者の動画を無断で撮影することは差し控えてもらいたいことと、状況確認等の対応はする旨を説明。ユーザーには必要に応じて靴を使用するなどの対応をと伝える。
	飲食店経営者が重度の犬アレルギーのため、入店を断ったが、ユーザーが強引に入店し飲食した。	県に報告し、地域の使用者の会や訓練事業所と共有。

2) 介助犬

■ 訓練事業者に関する紹介や相談

相談者	内容	対応
使用者	認定を受けた介助犬が引退することになった。新たな介助犬について相談をしていきたい。オンライン審査は対応されるか(2件)	審査方法は相談をしながらケースバイケースで対応していることを説明。1件は相談、評価を経て認定審査を実施した。1件は他機関へ相談されることとなった。
希望者	身内に内部障害の人がいるが、困ったときに人を呼ぶなどで介助犬を希望している。対象となるか？	介助犬の対象者、目的について説明。対象者の相談支援事業所の担当者とはまずはお困りごとについてご相談するようアドバイスした。
不明	介助犬の認定を受けたい	相談、評価を経て認定審査を実施した。

■ その他問い合わせ

相談者	内容	対応
事業者 受け入れ	”管理している住宅に、犬と暮らしている居住者がおり、本人は介助犬である旨主張しているが、認定証等は所持していない様子である。	ユーザーには認定証・管理手帳の所持と、提示を求められた際応じる義務があるが、認定証等の提示を求めても応じないようであれば、介助犬ではない可能性があることを伝えた。ユーザーであれば、訓練事業者・訓練所から発行される認定証等を所持しているので、本人に介助犬の貸与を受けた訓練事業者を確認すれば、認定されている介助犬かそうでないかは判断できることを併せて伝えた。
不明	視覚に障害のある人が四肢筋力の低下で介助犬について興味を持っている。四肢の状況については身体障害者手帳の等級には該当しなさそうだが、介助犬を使える可能性はどうか？	補助犬の対象者について説明し、まずは地域の相談支援事業所の担当者と生活面含めて課題の整理や必要なサービス調整、用具の活用など相談するようアドバイスした。
	当該県において、該当者がいるかどうかを知りたい。	当該県や訓練事業所にお問い合わせいただくようお伝えした。

3)聴導犬

■訓練事業者に関する紹介や相談

相談者	内容	対応
その他	介護サービスの利用を検討しているが、聴導犬の利用について検討をしたい。	介護サービス事業所含めてまずは生活面の課題の整理や利用サービスの調整、そのうえで聴導犬の必要性の有無や目的を検討してみるようお伝えし、必要あれば再度ご連絡をいただくようお伝えした。
	近所にいる聴導犬の問題行動が目立つ。聴導犬の再訓練をしてほしい。	聴導犬の胴衣の表示があるかユーザーに確認してもらい、表示があれば事業者を特定の上、直接連絡してもらうよう伝えた。(近隣の訓練事業者へ確認したが、その事業者での対応は難しく、厚労省では詳細の情報が無いと対応できないとの回答であった)

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

相談者	内容	対応
使用者	飲食店2店での利用予約に際し、聴導犬を同伴と伝えたところ予約を断られた。	店舗に連絡し、受け入れを拒まないようお願いするとともに、補助犬同伴ステッカーと啓発用パンフを郵送した。

8.補助犬窓口の存在、目的、業務内容に関わる普及啓発活動の実施について

○政令市

実施している	実施していない	回答無
73%(11)	20%(3)	7%(1)

○中核市

実施している	実施していない	回答無
51%(22)	47%(20)	2%(1)

具体的な普及啓発の実施方法

【政令市】

市町村	内容
仙台市	Web サイトや広報誌で窓口について紹介している
さいたま市	市 Web サイトや広報誌に掲載。
横浜市	市ホームページ、障害福祉の制度案内冊子での広報
相模原市	市で発行している「障害のある方のための福祉のしおり」に掲載
新潟市	市ホームページや市報に、補助犬の啓発及び補助犬同伴の受け入れについて理解を求める記事を掲載している。
静岡市	静岡市障害者協会(静岡市障害者基幹相談支援センター)のWebサイトや障害者相談のチラシで紹介している
名古屋市	Web サイトで窓口について紹介している
大阪市	ホームページ、障がい福祉制度紹介冊子への掲載により広報
堺市	障害のある方を対象に配布している「障害福祉のしおり」という各種制度や相談窓口等を掲載した冊子の中に問い合わせ先を記載している。
北九州市	本市のホームページに補助犬についての説明及び受け入れについて記載しています。
熊本市	ホームページによる紹介

【中核市】

市町村	内容
函館市	市民あてに配布している障がい福祉のしおりに掲載している。
盛岡市	窓口にて、ポスターやチラシを掲示している。
郡山市	ウェブサイト等で補助犬について普及啓発及び問い合わせ窓口を公表している。
いわき市	市公式ホームページ上に掲載
宇都宮市	サービスのしおりや広報誌, ポスターにて紹介している。
前橋市	市ホームページ、市広報誌に掲載
船橋市	市ホームページや広報誌にて、補助犬についての内容とともに問い合わせ先を掲載している。
八王子市	HP に問い合わせ先を掲載している。
富山市	市の HP に掲載している。
福井市	市ホームページで紹介している
長野市	ホームページ上で掲載
岡崎市	市のホームページや、障がい者手帳取得者へお渡しする「障がい者のしおり」へ掲載し照会しております。
高槻市	高槻市ホームページに「身体障がい者補助犬をご存知ですか」を掲載、窓口でリーフレットを配布。
八尾市	本市のホームページで窓口について紹介している。
尼崎市	①本市のホームページにて「身体障害者補助犬について」ページを開設し紹介。 ②県の補助犬貸付事業が、市を通して申請することとなっているため、市の広報にも掲載し、呼びかけ。 ③補助犬同伴ステッカーや啓発リーフレットの配布。ポスターやステッカーの市庁舎(出先含む)や関連機関での掲示など
西宮市	兵庫県が実施する補助犬利用希望者募集の際に、市の広報誌に募集記事を掲載している。
和歌山市	和歌山市のホームページに掲載
倉敷市	障がい福祉課の窓口厚生労働省作成のリーフレットを配置している
呉市	市ホームページや広報誌で紹介している
高松市	窓口で補助犬ステッカーを掲示している
松山市	市のホームページ内で担当窓口を紹介している。
大分市	大分市のホームページに、補助犬相談窓口の設置の案内を掲載。リーフレットを窓口を設置している。

参考資料

各自治体に送付した調査票をご覧ください。

URL または QR コードを読み込んでください。

■都道府県送付 2022 年度身体障害者補助犬育成促進事業等実施実態調査に関する調査票

<https://drive.google.com/file/d/1A5-WIyrPQW8V7buJttyUfMSXjP6qOp2D/view?usp=sharing>



■政令市・中核市送付 身体障害者補助犬育成促進事業等実施実態調査

<https://drive.google.com/file/d/1eOn5kKO7e8PgGxyDtyxiWeAc-gTbUrcj/view?usp=sharing>





日本補助犬情報センター
JAPANESE SERVICE DOG RESOURCE CENTER

発行者 特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター
Japanese service dog resource center
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1688-1-203
TEL:045-275-7770 FAX:045-275-7771
e-mail:info@jsdrc.jp HP:https://www.jsdrc.jp
(禁無断転載・無断転用)